

新横浜駅北部地区まちづくり方針（素案）に関する 市民意見募集／こども向け意見募集の実施結果について

横浜市では、「新横浜駅北部地区まちづくり方針」の策定にあたり、令和8年6月に素案を公表し、市民意見募集及びこども向け意見募集を実施しました。皆様から貴重なご意見をいただきましたことに御礼申し上げます。

1. 実施概要

(1) 実施期間

令和8年6月30日（火曜日）から令和8年7月30日（木曜日）まで

(2) 実施提出方法

電子メール、郵送または持参、FAX

(3) 周知方法

- ・素案／こども向け意見募集版の閲覧（市民情報センター、各区役所、都市整備局窓口）
- ・記者発表、横浜市ホームページの掲載
- ・地域関係団体等へ周知（まちづくりニュース配布・掲示板への掲示）

2. 実施結果

(1) 意見提出者総数

- ・市民意見募集 46 通
- ・こども向け意見募集 0 通

(2) 意見総数

- ・市民意見募集 126 件
- ・こども向け意見募集 0 件

(3) ご意見への対応状況

対応状況	説明	意見数	割合
反映	ご意見の趣旨を踏まえ方針に反映したもの	33 件	26%
包含・賛同	ご意見の趣旨が既に素案に含まれるもの 又は素案に賛同いただいたもの	34 件	27%
参考	今後の参考とさせていただくもの	48 件	38%
その他	本方針に関連しないもの	11 件	9%
合計		126 件	100%

※ご意見の詳細については、次ページ以降に掲載しています。

（原則、いただいたご意見の原文を掲載していますが、重複しているご意見等については一部省略しています。また、具体的な企業名等については掲載していません。）

新横浜駅北部地区まちづくり方針(素案)に関する市民意見募集でいただいたご意見と本市の考え方

- 【対応】
- ①反映…ご意見の趣旨を踏まえ方針に反映したもの
 - ②包含・賛同…ご意見の趣旨が既に素案に含まれるもの又は素案に賛同いただいたもの
 - ③参考…今後の参考とさせていただくもの
 - ④その他…本方針に関連しないもの

意見 番号	素案へのご意見	対応	ご意見に対する本市の考え方	
			方針の 関連・該当箇所	
1	新横浜駅周辺は、交通の利便性が高く、多くの企業や宿泊施設、イベント施設が集まる一方で、日常生活に必要な商業施設は決して多くありません。現在、新横浜プリンスペペの営業終了が予定されており、スーパーや日用品店、生活雑貨店などが失われることで、周辺住民の生活利便性が大きく低下することを大変懸念しています。 近年、新横浜駅周辺ではマンションの建設が進み、居住人口も増えています。駅を利用するだけでなく、地域住民が安心して暮らせるまちづくりのためには、食品や日用品を購入できる大型スーパーや生活雑貨店、ドラッグストアなど、日常生活を支える商業施設の充実が不可欠です。 また、こうした店舗は単に買い物の利便性を高めるだけでなく、人が集まり、街ににぎわいや活気を生み出す重要な役割も担っています。商業施設が減少すると、駅周辺の魅力や回遊性が低下し、「住みたい・住み続けたい街」としての価値にも影響を及ぼすことが懸念されます。 今後の再開発や施設整備にあたっては、オフィス機能だけでなく、地域住民の日常生活を支える大型スーパーや生活雑貨店などの商業施設をぜひ誘致していただきますよう、強く要望いたします。 新横浜が、働く人だけでなく、暮らす人にとっても便利で魅力ある街として発展していくことを期待しております。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
2	スーパーが欲しい プリンスペペがなくなってしまうので	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
3	とにかく大きいスーパーがなく、不便に感じております。唯一の大型スーパーがあったプリンスペペの閉店となると、普段の買い物がしにくくなり、さらに困ります。 電車で乗り換えの駅で一時降りて買い物をして変えることもしばしばです。大型スーパーの誘致を期待します。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
4	今近隣住民にとり一番の関心事は、来春プリンスペペが取り壊されることだと思います。ところがそれについては一言も触れていません。ペペに変わる建物ができる可能性があるのか。特にスーパーマーケットは新横浜県内にはありません。これに対して現在対応活動されているのか？ぜひ教えていただきたいと思います。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
5	こんなにマンション建てまくってるのは地域の意見を反映しているんですか？ どこも気づいたらマンションになってるし。アリーナの前に唯一セブンが出来たくらいですか。こんなにマンション建てまくってるくせに、唯一のスーパー（ペペ地下）が無くなるってどういうつもりなんでしょう？	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
6	素案の件は理解でき、街並みはとても良いと思ってますが、住民の買い物に関する事に全く触れていません。ご存知とは思いますが、新横浜はマンションばかり増え、また会社も増えて人が急増しております。住んでいて不便なのが、人ばかり増えお店が少ないことです。イベントで来る人も困ると思います。綱島や日吉は道が狭く不便ですが、入りたくなる店がたくさんありますが、新横浜は会社か飲み屋か牛丼やかコーヒー屋ばかり。スイーツやパン屋とかちょっと買って帰りたい店が無い。駅ビルの店もパツとしないし、ペペも無くなり、買い物が不便で買い物難民です。先ずは、大きなスーパーが必須です。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。

7	是非新横浜をより住みやすい街するための具体的な検討推進をお願い申し上げます。 1. 要旨 新横浜駅北部地区の持続可能な発展および居住環境の向上に向け、本素案で掲げられている「生活利便施設の充実(P17)」および「北部中央エリアにおける生活を支える施設の誘導(P46)」に関し、「容積率緩和等の都市計画上のインセンティブを活用した、日常的な食料品・日用品店舗（スーパーマーケット等）の立地誘導・事前協議要綱への盛り込み」を明確な施策として明記することを要望します。 2. 背景と現状の課題 ①居住人口・世帯数の急増と商業機能（スーパー）の著しい乖離 横浜市の公的統計データによれば、新横浜エリア（一丁目～三丁目）の世帯数および人口は近年著しく増加しており、都市型住宅の集積に伴い単身・ファミリー層の定住化が進んでいます。新横浜一丁目に在住しておりますが、マンション建設ラッシュやファミリー層の増加を肌で感じております。 一方で、本素案P18「建物用途現況」の通り、新横浜駅北部地区はオフィス・ホテル・飲食店の集積がきわめて高く、居住人口規模に対する日常型商業施設（中～大型食料品スーパー）の整備数が著しく不足しております。 ご存知の通り、2027年3月末の新横浜プリンスペペ閉業に伴い、スーパーや物販店舗が無くなるため、特に車を持たない世帯（若い夫婦・ファミリー層、免許返納したご老人・夫婦）にとっても利便性が、著しく損なってしまいます。 ②住民の買い物難民化と「市民の声」における公的エビデンス 徒歩圏内に日常的な買い物を完結できる大型スーパーが存在しないため、住民は北新横浜、菊名、小机、綱島、港北ニュータウン方面等の域外施設へ出向かざるを得ず、生活利便性の低下を加速させるのが課題と思います。 本件に関しては、すでに横浜市公式の広聴システム等においても「新横浜に大型スーパーを誘致してほしい」旨の切実な要望が寄せられており、市側も事前協議等での働きかけを公示しています。住民向けマンションが今後建設されていく中、元来の住民の要望とのギャップを感じますし、尚且つ今後新たにマンションに居住しようとする人たちにとっても新横浜に対する魅力度低下を招くと思います（交通網、ドラッグストア、書店、公園などはあるものの、肝心の家族で訪れ、まとめた買い物ができる大型スーパーが無い事に対し）。 3. 具体的な要望 ①インセンティブ制度の明記（P46「北部中央エリア」等） 民間ビルの建て替えや再開発に際し、低層部（1階～2階等）に日常的な食料品スーパーマーケットを配置する場合、容積率の加算緩和やセットバック要件の柔軟化などの都市計画上のインセンティブを付与する方針を明記すること。 ②開発事前協議ガイドラインへの「生活利便施設」の盛り込み 千代田区等の先進事例を参考に、一定規模威容の建築物を建設・建て替える際、行政と開発事業者との事前協議において「スーパーマーケット等、食料品・生活必需品店舗の導入検討」を要請する運用基準・指導要綱等を明確にすること。 ③「生活利便施設」の定義の具体化（P17） 素案の「生活利便施設の充実」という抽象的な表現を、「日常的な食料品・日用品店舗（スーパーマーケット等）をはじめとする、居住者のQOL向上に資する施設」と明確化すること。 ※事例 ・東京都千代田区（開発事業にかかる住環境整備推進制度） ・川崎市（武蔵小杉駅周辺地区 地区計画・再開発誘導）	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
8	新横浜プリンスペペに代わる商業施設を作って欲しい。 ・なぜあの場所にオフィスビルを誘致したのか？なぞです。 ・ペペは新横浜民の生活の一部です。ペペにあるスーパーが唯一の大型スーパーです。 ・外から来る人だけでなく、住人のためのまちづくりを考えて欲しい。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
9	この度、新横浜プリンスペペが無くなることでスーパーマーケット問題が同アプリ内で度々浮上します。昔あったお店がどんどん無くなり、唯一キュービックプラザ内の高島屋フードメゾンでお買い物出来ていたのに、そちらも無くなり.....終いにはペペのスーパーも無くなるようで。頑張れば周辺のスーパーまで行けますが、仕事帰りに行くのは中々ハードルが高いです。どうか駅近にもう少し規模の大きいスーパーを開店して頂けると我々新横浜住民はとっても助かります。中々市民の意見は通らないものと存じておりますが、ご検討頂けると幸いです。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。

10	新横浜は交通の利便性が高く、マンションも増え、住民が増えている一方で、日常の買い物環境は以前より不便になっていると感じます。数年前には高島屋に食料品売場や精肉店などがありましたが撤退し、さらに来年にはプリンスペペも閉館予定です。これにより、新横浜駅前から大型スーパーがなくなり、食料品をまとめ買いできる店舗がほとんどなくなってしまいます。現在は小規模店が点在していますが、家族向けの買い物をするには品揃えや規模が十分とは言えません。まちづくりでは、働く人や来訪者だけでなく、実際に住んでいる住民の暮らしやすさも重要だと思います。人口が増えている今だからこそ、食料品を幅広く取り扱う大型スーパーの誘致をぜひ検討していただきたいです。住みやすいまちづくりを進めるためにも、生活インフラとしての買い物環境の充実を強く希望します。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
11	いちはやくスーパーマーケットを作ってほしいです。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
12	新横浜は住みたい街ランキングでも順位を上げており、新横浜三丁目を中心にマンション供給も増え、居住人口も増加しています。一方で、プリンスペペが27年3月末でなくなってしまうと、住民の日常生活を支える商業施設が大きく減り、生活インフラが弱くなってしまうことを懸念しています。 実際に生活していると、駅周辺にはまいばすけっとが多い一方で、日々の買い物をまとめて済ませられる中規模以上のスーパーマーケットが少ないと感じています。肉・魚・野菜・日用品を一度に揃えられる店舗があれば、住民の利便性は大きく向上すると思います。 再開発では、商業施設やオフィスだけでなく、中規模以上のスーパーマーケットをぜひ誘致していただきたいです。需要はスーパーマーケットがない中居住マンション(ファミリー向け)が増えているので間違いなくあると思います。 また、駅前はオフィスを中心とした開発だけではなく、実際に暮らす住民の生活利便性を高める施設もバランスよく整備していただきたいと思います。再開発が、来街者だけでなく、実際に暮らす住民にとっても魅力あるものとなることを期待しています。 新横浜が「住みたい街」であるだけでなく、「住み続けたい街」としてさらに発展していくことを願っています。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
13	1.大型～中型のスーパーを作ってほしい 現在新横浜の住宅地には小型スーパーが点在していますが、小型スーパーは商品のラインナップが少ない上に内容も変わりません。年中同じものしか食べられないです。野菜や生鮮食品も高く買えません。プリンスペペ地下にスーパーはありますが高く買えません。 北新横浜の大型スーパーは遠くて行けません。 自家用車、自転車を持っていないため。バスや電車を利用して新横浜駅止まりなので、新横浜駅から家までの距離を購入した荷物を持って歩くのは辛いです。 新横浜には長く住んでいますが、スーパーがないことだけが本当に不満です。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
14	新横浜駅周辺には日頃からよく足を運んでいます。 新横浜は、オフィス街やライブ・イベント会場として多くの人を訪れる魅力的な街だと感じています。また、飲食店や公園も充実しており、過ごしやすい環境だと思います。一方で、商業施設が少ないため、買い物やショッピングを目的に訪れる機会はあまりありません。イベントや仕事帰りの人がそのまま街で買い物を楽しめるような風景も少なく、少し寂しく感じます。 また、プリンスペペが来年閉店予定と伺い、この傾向がさらに進んでしまうのではないかと心配しています。 生活面でも大型スーパーが少なく、新横浜に住む友人は北新横浜や大倉山のスーパーまで買い物に行っていると聞きます。 個人的には、センター北のように商業施設が充実し、日常の買い物から休日のお出かけまで楽しめる街はとても魅力的だと感じています。新横浜も、イベントがある日だけでなく、「普段から行きたい」と思える街になれば、さらに魅力が高まると思います。 今後は、ビジネスやイベントの拠点としての強みに加え、地域住民が便利で楽しく暮らせる街、そして他県から訪れた方も立ち寄りたくなる街を目指していただければと思います。そのため、商業施設や大型スーパー、日常的に利用しやすい施設の整備をぜひご検討いただけますと幸いです。より魅力的な新横浜の実現を期待しております。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。

15	新横浜地区は横浜の陸の玄関口であり、新横浜といえば横浜アリーナ、日産スタジアムといえるほど、イベントが開催されれば多くの集客が見込める施設が揃っています。駅前にはオフィス街やビジネスホテルが立ち並び、区画整理された街並みである一方、10分も歩けば住宅街や公園など落ち着いたエリアに変わっていきます。東急新横浜線で職場にも行きやすく、環境はとても満足しております。 しかし、暮らすにあたって唯一妥協した点があります。それは、徒歩15分圏内に大型スーパーが1店舗も無いことです。現在ある店舗は、生鮮食品を調達するには量も少なく割高になってしまいます。 自家用車があれば、港北インター付近の店舗、センター南・北にも行きやすいのですが、生憎所有していないため、都度夫婦で交代で外出し公共交通機関に乗って買い出ししています。 赤ちゃん連れではなかなか買い出しも難しく、せめて1キロ圏内に大型スーパーがあればいつでも買い出しに行けるのに、と常々考えています。来年にはプリンスペペも閉店してしまうため、新横浜駅の大型スーパーが全く無い状態に陥ります。 すでに誘致していただければ良いのですが、ぜひとも駅前に、せめて駅から徒歩15分圏内のスーパーの開店を望みます。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
16	新横浜に居住していますが、整備された街、街路樹、広い歩道、アリーナやスタジアムにみられる文化、スポーツの風。賑やかでありながら品があり、この町が大好きです。 ただ、これだけの町でありながら商業施設が少なすぎます。素案によれば、住む人にも訪れる人にも魅力的な町をめざしていると思われませんが、日々の買い物、特にスーパーが全くありません。まったくといったのは、来年3月にプリンスペペが閉店になるからです。新横浜にとってはペペの存在は大きく、生活に欠かせない店舗ばかりです。それがなくなり、ビルになると聞き、一体どのような町づくりを考えているのか疑問に思います。 数年前、東急と相鉄が乗り入れ便利になったことで、私の住む周辺でも、マンションが次々できています。単身者向けばかりではなく、ファミリー向けも増えています。そのような状況に、逆行するようで、ペペの閉店は本当に残念で怒りすら覚えます。新横浜線ができたときは、てっきりスーパーができるのではと期待しましたが、西武プリンスがあるからダメかと思っていたら、その西武ペペまでなくなってしまう。居住する人のためにも、またスタジアムやアリーナに来た人が買い物でも楽しめるような街づくりを考えてほしいです。 ペペの場所は駅にも近くアリーナへの途中でもあり、非常に重要な地点にあります。この場所をどうするか、企業任せではなく、本当に市民、居住者の生活を第一に考えてほしいです。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
17	子育てや仕事をしながら、生活していきたいので、やはり利便性の高いスーパーがあると嬉しいです。 お肉やお魚が豊富にあり安価な広いスーパーがあると嬉しいです。 100均など日常生活が揃うものもあれば嬉しいです。個人的に衣料品店がなくなるのは悲しいので、残してほしいです。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
18	1丁目に誘致するスーパーはミニスーパーではなく大きなスーパーをお願いします。特に生鮮食品を扱うスーパーが欲しいです。まずは八百屋や鮮魚店でも良いです。とにかく食材を買える場所がなく、生活面で大変困っています。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
19	新横浜駅徒歩圏内では、新築戸建て172区画の大規模開発に加え、タワーマンション計画や新築マンションの供給が進んでおり、今後さらなる世帯数の増加が見込まれます。 一方で、プリンスペペの閉業により一時的に生活利便性の低下が懸念されることから、特に新横浜1～3丁目エリアにおいては、スーパーや飲食店のさらなる充実をご検討いただきたいです。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
20	大型スーパーマーケットの誘致	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
21	新横浜の活気が好きで引っ越してきました。どちらかというとビジネスの街であり住んでいるのは単身者が多いのかと思っていました。しかし周りには緑もありお子さんのいる家庭もたくさん住んでいる事がわかってきました。 願いはただひとつ大型～中型のスーパーです。西武系のペペも撤退すると聞きました。 駅前で買い物ができません。日常の買い物に隣の駅まで行くなて不便です。 以前住んでいた浦和駅ではパルコ上階に図書館、市民センター、地下にはスーパーがありました。 新横浜には企業にも個人にも優しい街になってもらいたいです。これから長く住みたいので住みやすくしてもらいたいです。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。

22	横浜市の要エリアの一つとして活気ありながら、緑化も推進されている新横浜を、現在とても心地よく感じております。が、来年3月のペペ閉店のニュースに、新横浜生活の未来を危惧せずにはられません。 新横浜1丁目は、家族向けのマンションが多く閑静であることは確かですが、ホテルの乱立は目に余るところです。1丁目はもちろん、2丁目3丁目にも、もっと日常生活の基盤になるビジネスを誘致していただきたいです。ペペがなくなってしまう今、スーパーマーケットを中心とした複合施設の再建を、一新横浜住民として強く願っております。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
23	【高い優先順位で実現させてほしいこと】 ・P18、P46に記載がありますが、スーパーマーケット等の暮らしを支える施設の充実をもっと強調していただきたいです。来年3月でプリンスペペが閉店してしまい、駅周辺にスーパーが1軒もない事態となります。それ以外の店にしても、住民や遊びにきた人が買い物できるような店が、駅ビル以外ではコンビニくらいしかなく、非常に魅力が乏しい状態だと思います。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
24	プリンスペペ終業に伴い、多くの住民が多くの商業施設がなくなることによる不安を抱えています。 特に日々の生活に欠かせないスーパーの必要性は、緊急度が高いと思います。 スーパーマーケットを、ぜひ招致をすすめていただきたいと思います。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
25	大型のスーパーを駅近くに誘致して欲しい。コンビニなど小型のお店はあるがプリンスペペが来春無くなると普段の買い物に困る。例えば銀座にできたスーパーのオーケーは、地域の人々の買い物だけでなく銀座で働く人（ビジネスマン、飲食店関係者）にも受け入れられて活況である。駅前にタワーマンションの建設計画があるなかスーパーの需要はますます高まると思う。新横浜の未来をつくる子育てファミリー層に優しい街づくりを。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
26	◆生活の利便性について： 4）生鮮食品が購入できるスーパーマーケット 現在、新横浜は、生魚や生肉（質の良いもの）は購入できません。そのため、現在はプリンスペペの地下のスーパーを利用していますが、これも来年3月にはなくなります。そうすると、まともに生鮮食品を買うためには菊名まで行くことになり、マンションが乱立している地域としてあるまじき不便さになってしまいます。生鮮食品が買えるスーパーマーケットを誘致いただきたく、切に願います。	①	01-2③、01-2④ 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「住み続けたい街を目指して」と追記しました。 街づくり協議等の機会を通じて、商業施設の導入を働きかけてまいります。
27	バスロータリー前の喫煙所を改善してほしい 煙が外に漏れているのと、外で吸っているひとがいます。場所を移すか、もっとしっかり分煙できるものに変えてください	①	01-2③、01-3	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「受動喫煙の防止など」と追記しました。 引き続き、「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」に基づき、対策を進めていきます。
28	路上喫煙です。お昼時のアリーナ通り、恐らく近辺のオフィスで働かれている方々の路上喫煙が散見されます。 赤ちゃん連れて歩くには受動喫煙が不安です。避けようにもどの道を通っても喫煙者がいて困っています。	①	01-2③、01-3	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「受動喫煙の防止など」と追記しました。 引き続き、「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」に基づき、対策を進めていきます。
29	特に2丁目内で在勤の方中心に路上での喫煙が非常に多く、妊娠中～子どもへの健康被害を強く懸念しています。 またポイ捨ても多く街が汚いです。貼り紙だけではなく見回りや喫煙ブースの設置など実効果のある対策を要望します。	①	01-2③、01-3	いただいたご意見を踏まえ、方針01-2に「受動喫煙の防止など」と追記しました。 引き続き、「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」に基づき、対策を進めていきます。
30	公園は充実しておりますが、雨の日には子供と遊べる施設が少ないです。ぼっけ新横浜はありますが、土日はやっておりませんし、1歳前後の小さい子向けだと思います。小机地区センターとなると新横浜駅周辺からは遠く雨の日はきついです。有料でもいいので土日に行ける室内施設があれば嬉しいです。	①	01-2③、01-4① 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-4に「子どもたちが遊び、学ぶ居場所づくり」と追記しました。 住み続けたいまちづくりを進めていきます。

31	子供が過ごせる場所 ・新横浜は共働き家庭が多い地域です。夏休み中の公園以外の子供が過ごせる場所を増やして欲しい。 ・港北図書館や地区センターは教習所周辺の道が細く新横浜方面からは行きにくい場所です。 ・港北スポーツセンターは夏休み中、子供でいっぱいです。ここしか居場所がないんだなと感じます。 ・新横浜周辺に、公共の施設が欲しいです。 ・図書館ができるまでの間、仮の施設でもいいのであったら嬉しいです。	①	01-2③、01-4① 02-2	いただいたご意見を踏まえ、方針01-4に「子どもたちが遊び、学ぶ居場所づくり」と追記しました。 住み続けたいまちづくりを進めていきます。
32	防災について ・広域避難場所が日産スタジアムになっています。 ・イベント開催時に災害が起きた場合、住人の避難は優先されるのかが気になっています。 ・オフィス稼働時間とイベント開催が重なった場合の、新横浜に滞在している最大人数を把握して災害に備えているのか疑問です。	①	01-1、01-4④ 01-6	いただいたご意見を踏まえ、方針01-6に「大規模イベント時の対策等」と追記しました。 安心できる環境づくりを進めていきます。
33	新横浜公園は河川氾濫の水を一時的に引き込み溜めることで、流域の洪水被害を低減させる多目的遊水地機能を持っています。このことを、方針素案01-6等に何らかの形で記載いただけないでしょうか。	①	01-6①	いただいたご意見を踏まえ、方針01-6に「新横浜公園の多目的遊水地機能」を追記しました。安心できる環境づくりを進めていきます。
34	まちづくり方針については総じて賛成です。 ・道が広く小さい子供連れでも安心なところ ・オフィスやイベントにより、常に街ににぎわいがあるところ ・新横浜公園や鳥山川沿いを中心に緑が確保されているところ などが魅力のエリアだと感じており、今後もそれぞれ維持・向上が期待できるものと理解しており、非常に楽しみです。	②		ご賛同いただきありがとうございます。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
35	新横浜北部地区に居住する者として、本方針が掲げる「つどう・つながる新横浜」や、広域交通結節点としての魅力向上を目指す方向性には賛同します。 一方で、駅前市有地への新図書館整備については、まちづくり方針との整合性の観点から再検討をお願いしたいと考えます。新横浜は、新幹線をはじめ複数路線が乗り入れる横浜市を代表する広域交通結節点であり、年間400万人を超えるイベント来訪者を迎える都市です。方針でも、商業・宿泊・教育・文化など多様な都市機能を集積し、新横浜の魅力や価値を象徴する駅前空間を創出することが示されています。また、企業の集積や高度利用による業務・商業機能の強化、土地の有効活用を進めることも、本方針の重要な柱となっています。 このような方針を踏まえると、駅前の希少な市有地は、民間活力を活用した商業・業務・宿泊・交流機能を備えた複合施設として活用する方が、新横浜のブランド向上や地域経済への波及効果が大きいと考えます。図書館は市民にとって重要な公共施設ですが、イベント開催時には多くの来訪者で駅周辺が混雑する新横浜駅前は、静かな学習環境を必要とする図書館の立地として必ずしも適しているとは思えません。 さらに、本方針では回遊性向上や歩行空間の充実、交通結節機能の強化を重視しています。 そのため、優先的に検討すべき事項として、以下を要望します。 ・JR横浜線ホームの増設など輸送力の向上 ・JR横浜線ならびに市営地下鉄ブルーライン・相鉄東急新横浜線の出口増設（新横浜一丁目側、日産スタジアム方面、横浜アリーナ方面など）による人流分散 ・新横浜プリンスペペ閉店後の商業機能低下を補う商業・交流施設の誘致 新横浜駅前は、横浜市を代表する玄関口です。限られた駅前市有地だからこそ、住民の利便性向上と都市競争力の強化の両立につながる土地利用を期待します。	②	01-1①、01-1② 01-2①、01-4① 02-2	ご賛同いただきありがとうございます。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
36	都市のブランドを確立するためには、その名前に独自性や親しみやすさがあることが大事です。「新横浜」について言えば、独自性や親しみやすさが弱く、都市のブランドに貢献していない名前であると思います。「新横浜」は「横浜」に「新」を付けた二次的で事務的な地名だからです。もし、「新」に続く地名が広く知られていないのであれば、「新」が付いても二次的にはならず、独自の存在感を持つことができるかもしれません。しかし、「新横浜」の場合、「新」の後の「横浜」は大変有名な地名なので、「新横浜」という名前が独立した存在感を持つことは難しくなるのです。そして、地名の事務的な無機質さは、市民に地名への親しみずらさをもたらしています。このことは、市の素案の中で「新横浜」の漢字に「シンヨコ」というルビを振っていることに現れています。都市のブランドを確立するために、「新横浜」という地名を独自性や親しみのある名前に改名すべきです。具体的には、ルビの「シンヨコ」をやわらげた「しんよこ」を提案します。	③	新横浜ブランド	方針で「シンヨコ」と示したように、都市のブランド確立に向けて、独自性や親しみやすさが広く伝わるよう、まちづくりを進めていきます。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

37	個人的に、公園や川などの自然との接続性が悪いように感じる。既存の都市公園法では難しいかも知だが、公園の範囲を広げてみんな大好きPFIとして共同住宅やホテルを建てるようなことは出来ないか。極端な話、現状は北側が商業地域で南側が第1種低層住居専用地域である新横浜駅周辺を全て公園として指定し駅をPFIの対象施設にすることで、用途地域や都市計画上の制限等は少なくなり、より自由な街を作れる可能性もある。	②	新横浜ブランド 01-3	方針に示す通り、緑や公園などがある新横浜らしい街並みを生かし、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
38	方針には賛成ですが、細かいことですが、生活上いくつか気になることがあります。 シンヨコをもっと好きになるためにコメントさせていただきます。 新横浜では大規模イベント開催の際、①女性用トイレの不足、②コインロッカーの不足、③大型駐車場の不足がいつも問題になります。賑わいを育む取組には大賛成ですが、上記の問題が解消されないままだと更に悪化を招くのではないかと危惧いたします。 そこで、図書館や民間の新しい商業施設を整備していく際には、上記の問題を解消できるような設備を含めて進めていただけると幸甚です。このほか、④サッカーイベント開催の際には、公衆トイレへのペットボトル等廃棄物の放置や便器内への投げ捨てが見られ、利用者にたいへん不快な思いをさせていること、⑤歩道上でのスケートボード走行により歩行者に危険が及んでいることや夜間に騒音を生じていること、⑥路上喫煙禁止地区の範囲が狭く拡大が望まれること、等についても必要な態勢整備など並行して進めていかなければならないのではないかと思料いたします。以上、シンヨコの健全な発展を心より応援しております。	②	01-1、01-1② 01-2①、01-2③ 01-4、02-1	ご賛同いただきありがとうございます。 方針に示す通り、イベントなど多様な目的を持った人々がどうまちとして、いただいたご意見を今後の参考とさせていただきます、まちづくりを進めていきます。
39	新横浜駅前広場と横浜アリーナ入り口横に公衆トイレがある。素晴らしいことだ。	②	01-1、02-2	ご賛同いただきありがとうございます。
40	横浜線と新幹線の合流地点の混雑を解消してほしい 横浜線と新幹線の合流だけでなく、改札を入ってきた人と、ホームから降りてきた人との導線が悪く、ぶつかることがよくあるので改善してほしいです。	③	01-1①	方針に示す通り、誰もが安心して移動できる環境を保持していけるよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
41	まずは横浜線ホームが狭い事、出口を小机駅側を設けて頂きたい。 そしてブルーラインや東急新横浜線とのアクセス向上させる為にも図書館予定地を駅の改札口の新設を含めた再開発をして欲しい。	③	01-1①、01-1②、 02-2	方針に示す通り、誰もが安心して移動できる環境を保持していけるよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
42	新横浜公園、日産スタジアムは駅からのアクセスが徒歩中心のため、新横浜駅とのつながりに課題があります。地域一体の発展のため、土日やイベント時だけでも2重連結バス等で公園と新横浜を結ぶことが実現できれば素晴らしいです。方針素案01-4でより具体的な記載を検討いただけないでしょうか。	②	01-4 02-1、02-2	方針に示す通り、誰もが快適かつ気軽に行き来できる環境を目指して、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
43	陸の玄関口としての新横浜駅の利便性向上 折々に鳥山川の橋あたりに観光バスの一団を見ます。観光を1つのメインとしている横浜なので、就学旅行やスポーツ大会への参加で、遠方から新幹線で着く学生、学校関係者もいるかと。（京都への修学旅行並みとはいかないまでも） 新幹線で着いた集団がスムーズに次の目的地に移動できるようバスの発着場の整備も一案としていただけると幸いです。（バスタやYCATのように有償のバスだけでなく） 東京、品川で下車してではなく、新横浜で下車したいと思わせる周辺の利便性向上	②	01-1①、01-1② 02-1	方針に示す通り、誰もが安心して移動できる環境の保持していけるよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
44	駅前の図書館施設建設については、収益化できるものを多く入れた方がいいと思います。飲食店、映画化、カプセルホテル（ライブ等でニーズあるでしょう）、オフィス等 図書館は無料で利用できてよいですが、一等地なのでもったいないです。	②	01-1②	方針に示す通り、駅周辺にふさわしい顔となるよう検討を進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

45	5. 官民連携による実現 本提案は、行政だけで実現するものではありません。 横浜市：・制度整備 ・関係者調整 ・公共空間活用 企業：・技術提供 ・実証協力 ・人材提供 金融機関：・起業支援 ・成長支援 大学・研究機関：・知識・人材提供 市民：・利用 ・評価 ・共創 それぞれの力を結集することで、新横浜独自の未来都市モデルが形成できます。	②	01-2②、02-1	方針に示す通り、新横浜の特性を生かした産官学連携により、多様なイノベーションにつながるよう、まちづくりを進めていきます。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
46	新横浜を、仙台駅や新千歳空港のように「また行きたい」と思える魅力的な街にするための改善提案です。 憩いとウェルネス：癒やしの温浴施設や、居心地の良いカフェを誘致。新横浜公園などを走るランナー向けに、シャワー付きのランナーステーションを整備します。	②	新横浜ブランド 01-2③、02-2	方針に示す通り、健康や快適さにも配慮したまちづくりを進めていきます。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
	産官学連携の具体化に関する提案 1 意見の趣旨 「新横浜駅北部地区まちづくり方針（素案）」に賛同するとともに、本方針が掲げる「産官学連携でイノベーションを起こし、発信・発展し続ける拠点」（素案 01-2）や「産官学住が連携し、持続可能で多様性に対応した柔軟で豊かなまちづくり」（素案 02-1）を、より具体的かつ実効性ある形で実現するため、以下のとおり意見を提出します。 素案の課題 ― 「産官学連携」の担い手と場が具体的でない 素案には「産官学連携」「産学連携」「実証実験・社会実装」という方向性が繰り返し示される一方、連携する『学』の主体・場・実現の仕組みが描かれていません(地区内の高等教育機関は専門学校5校のみ)。新横浜の強みを生かし、この空白を埋めることを提案します。【図】新横浜の強みを「大学の集積」と「実証フィールド化」の2本柱に結びつける 2 3つの中核提案 提案 1 主要大学の理系キャンパスを新横浜に集積する 「産官学連携」を掲げながら不明確なままの『学』の中核として、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）の郊外に広大な敷地を構える主要大学の理系キャンパス（研究科・学部・サテライト研究拠点等）を新横浜に集積することを提案します。 ◎ 提案理由 新幹線全便停車・空港直行バス・5鉄道路線という全国屈指の交通結節点。全国・海外から研究者・学生・共同研究先が集まり、産学連携が生まれやすい。各大学の郊外キャンパスが抱える通学・来訪の不便を根本から解消する。素案が挙げるIT・半導体等の企業集積と理系研究を近接させ、共同研究・人材供給・技術移転が日常的に起こる。横浜市の少子高齢化への直接的対策として、若い研究者・学生人口の流入がまちの活力と担い手を確保する。横浜市内の大学であれば、移転後の跡地は再開発が可能。例えば対象に想定する土地は、住宅・産業・研究用地等として活用でき、移転元の地域にも新たな価値を生む。 ◎ 誘致・連携の候補となる理系キャンパス ※いずれのキャンパスも横浜中心部からは遠く、大学どうしの相互アクセスも悪い辺鄙な立地で、通学・通勤・共同研究に不便を強いている。新横浜への集約により、この不便が一挙に解消される。上記は候補の例示であり、実際の誘致は各大学の意向と合意を前提とします。【図】郊外に分散した理系キャンパスを、交通の要衝・新横浜へ集約するイメージ			

47	提案 2 まち全体をキャンパスに ― 施設の分散配置と共通学食 大学を一つの敷地に囲い込むのではなく、まち全体を一つのキャンパスと位置づけ、各大学の施設をまちなかに分散配置することを提案します。素案の「歩いて楽しいまち」「つどい・つながり」(01-3・01-4)とも高い親和性があります。 ◎ ねらいと具体策 校舎・研究室をまちなかに分散し、通りや広場を交流の場に。異なる大学の学生同士、働く人々との日常的な親交を促す。学生食堂は横浜市が整備し、各大学が共通利用する「共通学食」に。各大学の施設・運営コストを下げつつ、垣根を越えた交流の場を生む。共通化は学食に限らず、共同実験室・大型研究機器（コアファシリティ）・共用講義室へ拡張し、連携を制度的に根づかせる。 【表】観点（アクセス・産学連携・学生の交流・施設コスト・まちの活量）について郊外・分散キャンパス型、新横浜・集積＋共通化型を評価 提案 3 まち全体を「10年後の未来都市」の実証フィールドにする 新横浜のまち全体を「一般社会の10年後の未来都市」と位置づけ、実験的な技術検証を積極的・継続的に行うことを提案します。素案 02-1 の「地域が一体となって実証実験にチャレンジし社会実装を目指す」「オープンデータ化」「自動運転バス」を、単発の社会実験ではなくまちの恒常的機能として制度化します。 ◎ ねらいと具体策 自動運転・次世代モビリティ、ロボティクス、AI・都市OS、エネルギー、ヘルスケア等を、公共空間・公開空地で日常的に検証・社会実装する「リビングラボ都市」に。「10年後の暮らしを今体験できる未来都市」として観光の新たな魅力を創出し、企業ショールームや大学研究のオープン化と結ぶ「未来都市ツーリズム」を展開。実証フィールドとしての魅力を企業誘致の武器とし、実証手続のワンストップ化・国家戦略特区／規制のサンドボックス活用も検討。 【図】大学集積 → 人材・研究力 → 企業誘致 → 実証・技術発展 → まちの魅力向上 が循環する 3 実効性を高める7つの追加提案 上記の3提案を実現し、素案の理念をより確かなものとするための補足です。 (4) 新図書館・データ基盤と接続 集積大学と新図書館（素案 01-1「知の創出・発信」）を連携させ「知のハブ」に。実証で得たデータを大学が使えるオープンデータ／都市OSを整備。 (5) スタートアップ・産学共創拠点 共通学食・共同実験室に加え、インキュベーション施設やコワーキング／メイカースペースを整備し、大学発の起業と共同研究を日常化。 (6) 学生・若手研究者の居住と定住 「都心複合住宅ゾーン」（01-2・02-2）を生かし学生向け住宅を計画に位置づけ。職・学・住の近接で回遊性と若年定着を促進。 (7) 地域コミュニティとの融合 学生が新横浜パフォーマンス・盆踊り・防災訓練に参画する仕組みで、素案の「産官学住連携」（02-1）と地域力を具体化。 (8) 誘致のための制度的インセンティブ 共同化・高度利用（01-2）、容積率インセンティブ、隔地駐車場活用による用地創出、立地支援制度など具体的誘導策を明記。 (9) 段階的な実現とKPI設定 「できるところから」（02-1）に沿い、まず1～2大学のサテライト＋共通学食から着手。集積企業数・学生数・共同研究/実証件数で進捗を検証。 (10) 防災・レジリエンスへの活用 集積する大学施設を、素案 01-6 が課題とする帰宅困難者の一時滞在施設として活用するなど、平常時は学びと交流、災害時は地域の安全を支える二重の役割を持たせる。大学の知見を地域防災に生かす産学官連携も期待できる。 結びに 新横浜は、卓越した交通結節性・企業集積・強い地域力という、他都市にはない条件を兼ね備えています。これらを「大学の集積」と「未来都市としての実証」に結びつけることで、素案が掲げる『つどいが価値を生み つながりが未来を動かす都心』を、抽象論にとどめず具体的な都市像として実現できると考えます。本意見が方針の具体化の一助となれば幸いです。	②	01-2②、01-3、01-4 01-6、02-1、02-2	方針に示す通り、新横浜の特性を生かした産官学連携により、多様なイノベーションにつながるよう、まちづくりを進めていきます。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
48	1丁目環状2号線の南側のエリアに公園、スーパー、塾、スポーツ施設、カフェ、飲食店、商業施設を求めます。	②	01-2、02-2	方針に示す通り、多様な都市機能の集積を図り、進化しつづけるまちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

49	映画館が欲しい 仕事終わりのイベントの待ち時間に行きたいので。わざわざ横浜まで乗り換えないと映画を見に行けないのが不便です	②	01-2、02-2	方針に示す通り、多様な都市機能の集積を図り、進化しつづけるまちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
50	学習塾について ・新横浜周辺、学習塾が少ないです。	②	01-2、02-2	方針に示す通り、多様な都市機能の集積を図り、進化しつづけるまちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
51	新横浜駅周辺には頼れるスポーツジムがない。以前、長く通っていたプリンスペペの地下にあった大きなジムが数年前に閉館になった。周辺には二十四時間営業の小さなジムが幾つかあるが、それらのほとんどはシャワーが一台だけ。またロッカーもないので、私物はトレーニングルームの棚に置く。監視カメラを設置してあるというが、もし大事なものが盗まれたらどうしてくれるのか。小さな二十四時間営業のジムは欠陥だらけだ。頼れるジムの誘致を望む。	②	01-2、02-2	方針に示す通り、多様な都市機能の集積を図り、進化しつづけるまちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
52	新横浜を、仙台駅や新千歳空港のように「また行きたい」と思える魅力的な街にするための改善提案です。 充実の時間潰しスポット：駅ビル屋上に富士山や夜景が見える展望フロアを解放。こだわり映画を上映するミニシアターや美術館、ズーラシアの動物のライブ配信などで退屈しない街を作ります。	②	新横浜ブランド 01-2、02-2	方針に示す通り、多様な都市機能の集積を図り、進化しつづけるまちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
53	新横浜を、仙台駅や新千歳空港のように「また行きたい」と思える魅力的な街にするための改善提案です。 街の美化と安心：駅周辺やスタジアムへの道を高圧洗浄で徹底清掃し、クリーンな景観を作ります。客引きや宗教勧誘を排除し、美味しい料理を出す名店を増やして、安心して楽しめる街にします。	②	新横浜ブランド 01-2、02-2	方針に示す通り、多様な都市機能の集積を図り、進化しつづけるまちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
54	まちもずいぶん変わり、特に2丁目エリアは花と緑がたくさんあり、とても素敵になりました、季節ごとに美しい花が植えられて、いつも感謝しています。特にハングングリーン？は活動のための収入につながると知り、とてもよいと思いました。	②	01-3③、01-4④	ご賛同いただきありがとうございます。
55	一丁目へのアクセスが不便で、特に城里ガードは歩行者と車が通り危険です。また、南口からのルートは、JR東海の敷地でかなり遠回りになるので、何か改善されるといいです。理想は横浜線ホーム端に、西口改札ができることです。	③	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
56	横浜線の下をくぐる通路について、落書きや地面のガタつきでネガティブな印象が強いので改修していただけないでしょうか。 小机側の1丁目の玄関口といっても過言でない通路なので気になっています。 また長期的な改修案として横浜線の線路を上げて道路をフラットにできないでしょうか。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
57	一丁目と二丁目の境界を走る横浜線を地下に移動または、二丁目、一丁目の地下街化 ※現在の境界は暗く雰囲気が悪い。子供、女性が通りにくい。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
58	ペDESTリアンデッキを1丁目方面に延伸していただきたいです。陸橋と繋がると1丁目の住民の負担が非常に減ると思います。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
59	環状2号線や横浜線を越えることのできる歩道がかなり少なく、ベビーカーで暮らすには不便に感じています。歩道の整備もしてほしいです。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

60	2.新横浜駅までのアクセスの利便性を向上してほしい 新横浜1丁目から新横浜駅へ行くには歩道橋を渡るのが最短ですが、ベビーカーや体調の悪い時に歩道橋を上がるのが本当に辛いです。 エレベーターを利用するにはかなり遠回りになります。夏は更に辛いです。 新横浜駅まで歩道橋以外のルートを充実させてほしいです。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
61	【良好な住環境のために実現させてほしいこと】 ・「つながる」がキーワードとなっていますが、P20の図の「流通業務等複合ゾーン」は横浜線の線路と環状2号線で明らかに分断されていて、駅からのアクセスも非常に不便です。図書館予定地とコインパーキングをつなぐような動線を検討してほしいです（できれば篠原口側にも出られるようにしてほしい）。	②	01-1①、01-1②、 01-4②、01-4③ 02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
62	防犯・安全面について： 2）環状2号線の横浜線を跨ぐ高架部分のエレベーター設置 新横浜駅から岸根交差点に向かって環状2号線を進むと途中から高架になります。北側はエレベーターがありますが、その反対側は階段しかなく、とても不便ですし、足腰の不自由な人にも優しくない状況です。エレベーターに乗るためには、高架をくぐり、エレベーターに乗らねばならず、さらに反対車線側の歩道に出るには一旦駅側に引き返して高架をくぐる道を通らねばならず、遠回りになります。また、この遠回りする道は、周囲が線路や駐車場ばかりで昼でも暗く、人目がなく、夜間はさらに暗くて防犯上あまりよろしくない道です。 そのため、南側にもエレベーターをつけていただきたいです それが無理ならば、せめて環状2号線の高架下のもう少し1丁目側を反対側にくぐるようにしていただきたいです。（現在は何らかの資材置き場のような感じになっているところです）	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
63	【意見の対象となる箇所】 まちづくり方針（素案）における「安全・安心の確保」または「歩行者ネットワークの形成・移動の円滑化」に関する部分について 【意見の件名】 新横浜一丁目における環状2号線の横断環境（信号機・歩道橋など）の整備について 【意見の具体的内容】 新横浜一丁目の中心部を貫く「環状2号線」について、歩行者が安全に横断できるよう、信号機や横断歩道、または歩道橋の設置を強く要望します。 現在、新横浜一丁目の新幹線高架側エリアと小机寄りエリアの間は、環状2号線によって街が大きく分断されています。新横浜陸橋から岸根交差点までの長い区間にわたって安全に道路を渡れる場所がなく、横断歩道がある場所まで迂回するのに多大な時間と労力がかかっています。 この状況は、地域住民や周辺企業に勤める方々の日常的な移動において大きな負担となっているだけでなく、無理な横断を試みる人が現れるなど、交通安全の観点からも極めて危険な状態です。少子高齢化への対応や安心・安全なまちづくりを将来へつなぐためにも、この一丁目エリアの移動のバリアフリー化と街の一体感の醸成は不可欠であると考えます。 土地区画整理から50年が経過し、これからの次の50年を見据えた新しいまちづくりを進めるこの貴重な機会に、ぜひ環状2号線の一丁目区間における横断環境の整備について、具体的な方針への盛り込みと実現に向けたご検討をお願いいたします。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
64	回遊性の向上に関連して、1丁目側での環状2号線の横断可能箇所を増やしていただきたいです。現状自治会館と岸根交差点でしか横断ができないため、例えば中央付近で横断ができるようになると1丁目内での回遊性が高まると思います。 町内が分断されたままであれば篠原側、小机側それぞれに施設を誘致していただきたいです。 また大規模な工事を行わずに対応できそうな箇所として、陸橋下が封鎖されていますが2丁目側のように解放することはできないでしょうか。	②	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	方針に示す通り、滞在・回遊を促す移動環境が充実するよう、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
65	駐輪場について ・環状2号線側に市営の駐輪場を増やして欲しい。	②	01-1①、01-4③	方針に示す通り、多彩な移動環境の充実を図り、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

66	シェアモビリティも良いが、人力車も新横浜エリアの移動では活用できるのではないか。	②	01-1①、01-4③	方針に示す通り、多彩な移動環境の充実を図り、まちづくりを進めていきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
67	自治会の皆さんへ 日頃の活動、ありがとうございます。	②	01-4④、01-6② 02-1	ご賛同いただきありがとうございます。
68	何にせよ新幹線停まる駅とは思えないほどショボいですね。アリーナとか一時的に来る人はいいいけど、住民にはほんと良いことない街ですよ。何故こんなところに家を買ってしまったのか・・・ほんと後悔しています。	③	01-1、02-2	住み続けたいまちづくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
69	居住地としての魅力はより高められる余地があるものと感じています。 大手企業の本社が存在することや近年は高所得者層も増加している（体験値ですが）ことも踏まえると、新横浜は世界から企業と優秀な人材（高所得層）が集まり、住み、働く、持続可能で緑豊かな最先端ミクストユースシティを目指せる可能性がある様に感じています。 上記を前提とすると、グローバル人材や高所得層の居住促進を見据え、 ・プリンスペパに代わる質の高い生活利便施設（高級スーパー、上質な飲食・カフェ）や、知的好奇心を満たす文化施設の積極的な誘致 ・質の高い教育環境（インターナショナルスクールや高度な育児支援施設）の集積 ・統一感のある洗練された街路灯・舗装デザイン導入を推進する・景観ガイドラインを策定するなど、国際都市・横浜の玄関口にふさわしい美しい景観の形成推進 ・アリーナ通りやレンガ通りなど、北部地区の主要動線を単なる歩道ではなく、緑豊かな植栽とオープンカフェ等が並ぶ『滞留・交流できるウォークアブルなシンボルストリート』としての再整備 ・国際的なビジネス・交流拠点にふさわしい『健全な都市型ホテル（インバウンド向け）』や『大規模オフィス又はレジデンス』へ建て替える事業者に隊する、大胆な容積率の緩和や税制優遇などのインセンティブ制度の設計 などもぜひご検討いただけると、街としても1居住者としても更に魅力が高まるように感じます。	③	新横浜ブランド 01-2、01-3 01-4、02-1	住み続けたいまちづくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
70	官民連携による「高度イノベーション」と「地域レジリエンス・生活インフラ」が融合した全世代幸福型スマートシティへの発展提案 1. はじめに 新横浜は、東海道新幹線をはじめとする広域交通ネットワーク、高度な技術力を持つ企業群、研究開発機能、商業・業務機能、豊かな公園空間など、多様な都市資産を有する横浜市を代表する拠点です。今後、新横浜駅北部地区のまちづくりを進めるにあたり、単なる施設整備や機能更新にとどまらず、これら既存の強みを有機的につなぎ、新たな都市価値を創出する視点が重要であると考えます。 本意見では、「最先端テクノロジーと温かな生活がシームレスに交差する街」を基本理念として、新横浜が次世代型スマートシティの先進モデルとなるための提案をいたします。 2. 新横浜が目指すべき方向性 「交通の結節点」から「共創の結節点」へ 新横浜は、これまで全国と横浜を結ぶ交通拠点として発展してきました。 しかし、今後さらに都市間競争が激しくなる中では、単に人が通過する街ではなく、・人が集まる・技術が集まる・アイデアが生まれる・新しい価値が社会実装される街へ進化することが重要です。 新横浜には、・新幹線駅という全国的アクセス・半導体・ITなど高度技術企業の集積・多様な人が集まるイベント機能・公園や公共施設・都市実証が可能な環境があります。これらを結びつけることで、新横浜ならではの未来都市モデルを形成できると考えます。 3. 提案の基本コンセプト フィジカルIT都市・新横浜 現在、AI、IoT、ロボットなどデジタル技術が急速に発展しています。しかし、都市に求められるのは、技術そのものではなく、技術が人々の生活の中で価値として実感されることです。 そこで、新横浜では、デジタル技術と現実の街を融合し、社会価値へ変換する「フィジカルIT都市」を目指してはどうでしょうか。フィジカルITとは、「技術を展示する街」ではなく、「技術が市民生活の中で育つ街」です。	③	新横浜ブランド 02-1	新横浜の特性を生かし、将来を見据えたまちづくりは重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

71	6. 結び 新横浜には、京都や下町のような歴史的蓄積とは異なる、新しい都市としての可能性があります。それは、未来を受け入れ、未来を育てる文化を形成できることです。 新横浜を、単なる交通拠点ではなく、人・技術・知恵が交わり、新しい価値が生まれ続ける共創都市へ発展させることを提案します。	③	新横浜ブランド 02-1	新横浜の特性を生かし、将来を見据えたまちづくりは重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
72	補足①新横浜未来ビジョン（詳細版）	③	新横浜ブランド 02-1	ご意見に関する補足説明資料について、127番に意見を掲載しました。 今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
73	補足②3重点施策一覧表 「新横浜未来ビジョン実現に向けた施策体系」「重点施策間の連携イメージ」「官民連携体制案」「推進体制」「各主体の役割整理」「最終メッセージ」	③	新横浜ブランド 02-1	ご意見に関する補足説明として一覧化したものをご提案いただきました。 今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
74	補足③横浜市の既存政策との整合性	③	新横浜ブランド 02-1	ご意見に関する補足説明資料について、128番に意見を掲載しました。 今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
75	江戸時代に関所であったところと目的地であったところで、現代で発展度合いが違うように感じる。 この資料でも新横浜が目的地として魅力を高めるべきなのか交通拠点に過ぎないがそのなかで魅力を高めるべきなのか微妙な揺らぎがあるように思われる。 もう少し強く目的地としての新横浜を打ち出しても良いのではないか。	③	新横浜ブランド	新横浜の特性を生かし、将来を見据えたまちづくりは重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
76	イベントのときだけでも使用できるトイレや待機スペースを増やしてほしい。（特に横浜アリーナ） ・公衆トイレの数は限られていて、横浜アリーナの中のトイレも数が限られているため、どうしても近隣の施設のトイレを使わざるを得ないのではないかと？ ・みなとみらいのぴあアリーナは、周辺のオフィスビルの下階に飲食店やカフェ、トイレがあり、開場までの時間を過ごすため親切だと感じた。交通アクセスもみなとみらい線、JR、地下鉄も使え、徒歩圏内にマークイズ、ランドマークなどの大規模な商業施設が多くあり、トイレや食事、居場所に困らなかった。	③	01-1、01-4①	イベントなど多様な目的を持った人々を受け入れる環境づくりは重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
77	横浜線のホームが狭い・暗い 照明は仕方ないと思いますが、雰囲気だけでも明るくしてほしいです。	③	01-1①	広域交通結節点として誰もが安心して移動できる環境づくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
78	横浜市営地下鉄は非常に不親切だ。相鉄東急の乗り入れになった際に駅ホームのベンチをほとんど撤去してしまった。横浜市なんて高齢化が進むのに、高齢者を蔑ろにしている。ホーム幅に対して場所を取るというのなら、バネ式椅子にすればいいだろう。年寄りをバカにしているとしか思えない。 横浜市営地下鉄は営団地下鉄などと比べて、利用者の便宜を考えていない。都内だと地下からの出口がビル内に開いている。すると雨のとき、ビルにそのまま入れたり、ビルで雨宿りもできる。横浜市営地下鉄の地上出口はわざとのようにタダの歩道に出る。	③	01-1①	広域交通結節点として誰もが安心して移動できる環境づくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
79	周辺のアクセスについて 新横浜に限らず、区内のことになりますが ・バスのアクセスが全て新横浜が起点になっていて不便に感じる時があります。 ・みなとみらいの赤いくつバスのように周辺の新横浜以外の駅～新横浜駅、日産スタジアム、横浜アリーナ、トレッサ、ららぽーと、などをつなぐバス＆乗り降りきっぷなどがあると便利だと思います。 ・高齢者の方や、子供も多くいます。図書館、商業施設、スーパー、温浴施設、病院、スーパー施設などをつなぐコミュニティバスもあったら便利だと思います。 ・新横浜1～3丁目に限らず、もう少し広い範囲で開発していただけると幸いです。	③	01-1①、01-2 01-4	多彩な移動環境の充実は重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

80	3. 新横浜駅行きバスの増便について (鳥山町周辺は) 新横浜駅方面へ向かうバスの本数が少なく、通勤・通学や買い物の際に不便を感じています。運行本数を増やしていただけると大変助かります。また、可能であればマークヒルズ敷地内またはその近くにバス停を新設していただけると、住民の利便性が大きく向上すると思います。	③	01-1①、01-4	多彩な移動環境の充実は重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
81	新横浜を、仙台駅や新千歳空港のように「また行きたい」と思える魅力的な街にするための改善提案です。 便利な交通と生活：駅近くにデパ地下やスーパー、駐輪場を充実させます。さらに、新横浜駅から「IKEA」「ららぽーと」「トレッサ」などの周辺商業施設や病院を1本で結ぶ「ショッピング巡りバス」を運行し、たまプラーザや小田急線方面へのアクセスも強化します。	③	01-1①、01-1②、 01-2③、01-2④ 01-4③	多彩な移動環境の充実は重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
82	3.港北区内を回遊するバスがあれば生活圏が広がる 例えば、新横浜1丁目から大豆戸町へ行きたい場合、バスを利用しても新横浜駅止まりのためかなり不便です。 不便を感じている為、新横浜に住んでいても大豆戸町方面へ行くことは減多にありません。年に1回も行かないです。 この交通がもっと便利になれば色んなお店にも行ってみたいですし、生活圏も広がっていいなと思います。 自家用車や自転車を所有していない区民のためにも交通面での利便性向上を希望します。	③	01-4③	移動環境の充実は重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
83	図書館出来るの7年後？もうちょっと早くならないんですかね。図書館出来るって発表されたから来年再来年の話かと思ったら7年後って。リニアの資材置き場になっているからリニアが完成するまで着工されないって噂を聞いたけど本当か？	③	01-2②	新図書館予定地は、リニアの工事とは関係ありません。新図書館は計画づくり、設計、工事等のため竣工まで概ね7～10年程度かかる想定です。
84	提案②未来型図書館 「知のオープンイノベーションハブ」への発展 新しい図書館は、単なる本を借りる場所ではなく、知識、文化、技術、エンターテインメント、が融合する未来型公共空間として発展させることができます。 具体的には、・AI・デジタル技術体験・VR体験・映画・映像文化・デジタル創作・学習支援・技術交流などを組み合わせます。重要なのは、専門家だけの施設ではなく、市民が楽しみながら未来技術に触れ、そこから新しい興味や挑戦が生まれる場にすることです。	③	01-1②、02-1	まちづくりと新図書館整備が連携し、新横浜の新たな魅力創出につながる計画となるよう検討を進めてまいります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
85	地下鉄の出入り口を1丁目方面に増設していただきたいです。 図書館ができる際には図書館直結となると良いと思います。	③	01-1①、01-1②	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
86	「全ての人にとって、心地よく、歩きたくなる、洗練された街並み」につきまして、歩道の拡張を検討して頂けないかと思います。 新横浜ではイベントの日は特に人も多く、普段でもバスが到着するとどっとお客さんが下りてきたり、最近は新横浜二丁目の企業に務められる方も増えてきて歩道が慢性的に混雑していると思います。環状2号線や横浜線などで町が心理的にも分断されていきますので歩道を歩きやすくして頂ければ、行き来が盛んになると思います。添付のような歩道でも、植木ではなく普通のガードレールにして頂だけで幅が広がれると思います。(まめに剪定して頂いていますが、剪定前は伸びた枝のせいでかなり歩道がせまくなっています)	③	01-3②、01-4③ 02-2	歩きやすい歩道は、まちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
87	新横浜の2丁目は、飲食店が集まっている。例えば居酒屋なら、酒店、八百屋店、肉屋、魚屋...、すべてがトラック搬入で毎日あるだろう。異様に幅広い歩道を作り、そして道路は片側1車線であるから、毎日違法駐車になる。しかし違法駐車せねばならない業務形態なのだ。都内の中野サンプラザと同じ図式だ。駐車場に停めて搬入するのはとても煩雑だ。だから毎日、道が渋滞する。元町のように歩道に切れ込みを入れて、そこに短時間停めれるようにすればいいだけの話だ。あんなに幅広い歩道は必要なだろう。	③	01-3②、01-4③ 02-2	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
88	二丁目のアリーナ通りの路上駐車が蔓延状態の改善	③	01-3②、01-4③ 02-2	にぎわいがある歩行空間と駐車場の配置等の関係は、まちづくりの視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

89	提案③フィジカルIT実証都市化 新横浜全体を、未来技術を実際の社会で試す実証フィールドとして活用します。 テーマ例 ：スマートモビリティ ・次世代シャトル・自動運転技術・回遊性向上 ：スマート防災 ・AI情報分析・避難支援・災害対応強化 ：スマート生活インフラ ・AIスーパー・食品ロス削減・地域情報提供 重要なのは、企業が技術を持ち込み、市民が利用し、改善につなげる循環を作ることです。	③	01-2②、02-1	企業との連携は、まちづくりの重要な視点の一つであると考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
90	提案④新幹線未来ショップ構想 ～未来の商品を市民が体験する象徴的ステージ～ 新幹線は、日本の高度技術を象徴する存在です。その価値を活用し、単なる展示ではなく、未来の商品やサービスを市民が体験できるショーケースとして活用することを提案します。 対象は、・スタートアップ商品・優れたデザイン製品・次世代生活用品・未来型食品 など、市民が手に取り価値を実感できるものです。 専門的な技術展示は、未来型図書館や企業研究施設、フィジカルIT実証環境が担い、新幹線は、「未来を感じ、感動を広げる入口」として位置づけます。	③	01-2②、02-1	企業との連携は、まちづくりの重要な視点の一つであると考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
91	提案⑤新横浜未来創造エコシステム ～優れたアイデアを高速に社会実装する街へ～ 起業支援で重要なのは、相談窓口を作るだけではありません。必要なのは、優れたアイデアを持つ人が、新横浜に来れば、多くの力を得て実現できる仕組みです。 例えば、アイデア→ホーカーで市民反応確認→図書館で知識・人材交流→技術企業による支援→フィジカルIT実証→新幹線未来ショップで市場評価→金融・行政支援による事業化という循環です。 新横浜の強みは、「寄ってたかって育てられる環境」を作れることです。	③	01-2②、02-1	企業との連携は、まちづくりの重要な視点の一つであると考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
92	一丁目も多くのマンションがあり、子どもたくさん住んでいます。ラブホテルはもともとあったものですが、派手なのぼりや看板、旗などが景観上不愉快に感じます。（室内の写真など）そのあたりの規制があるといいです。	③	01-2④、01-3③ 02-2	新横浜駅北部地区街づくり協議指針では、屋外広告物の協議を行っており、景観への配慮も求めています。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
93	認可保育所が新横浜一丁目にほとんどありません。どちらも人気園で、1歳児クラスはきょうだい加点で埋まってしまうと見学で教えていただきました。マンション建設でファミリー層も増えてきていますので、早急な新規開所をお願いします。	③	01-2③、01-2④ 02-2	子育てしやすい環境づくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
94	保育施設や地域センターの誘致をお願いします。 大豆戸側や小机側にはありますが子どもを連れて歩いて行くには遠く、新横浜1丁目は子育て支援の空白地帯であると強く感じています。せっかく地域に子どもが増えてきているので、子育てしにくい環境を改善していただきたいです。	③	01-2③、01-2④ 02-2	子育てしやすい環境づくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
95	横浜市は市民に対するサービス感覚が欠如している。たとえば新横浜駅キュービックプラザ駅舎、ここは新幹線に乗る者もおれば、リムジンバスで空港に急ぐ者もいる。もちろん彼女らは腕時計もスマホも持っているだろうが、多くは荷物を持っており手が自由にならない状態だ。だからこそ、パッと見れる壁の時計が必要であろう。駅舎内の新幹線時刻電光掲示のところにしか時計がない。折角のキュービックプラザの白い壁面に電光掲示の時計を設置すればよい。あの企業のロゴなんかよりも必要であろう。腕時計を付けていない子供にも有用であろう。	③	01-1①	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
96	センター北とセンター南、これなんて都市設計失敗の典型例だ。おそらく青葉区の住民が246号を越えて買い物に来ることを期待したのだろうが、そうはいかなかったから百貨店が撤退したわけだろう。そしてセンター北とセンター南というように分けたために、土地には道路がひどく渋滞する。西欧のようにセンター駅にラウンドアバウトを作って放射状に道路を配置すればよかったのだ。都市計画のセンスが悪い設計者を選んでやらせるからこうなる。 おそらく都筑インターあたりに企業誘致して、それがニュータウン計画だったんだろうが、ドンドン撤退されてもぬけの殻。つまりは横浜にはそんなに企業が集まってくる魅力がないという証左や。新横浜駅に図書館を作るそうだが、「佛造って魂入れず」になることを予言しておく。	③	01-1②、02-2	まちづくりと新図書館整備が連携し、新横浜の新たな魅力創出等につながる計画となるよう検討を進めてまいります。

97	ラブホテルの排除	③	01-2④、02-2	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
98	【良好な住環境のために実現させてほしいこと】 ・P45で「新横浜一丁目・川沿いエリア」を閑静な住宅街としていますが、このエリアにはマンションの合間にラブホテルが多く存在しています。昔からそうだった、という事情もあるとは思いますが、建替えや転出を進めることを盛り込んでいただきたいです。	③	01-2④、02-2	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
99	P12の写真にあるように最近では都市鉄道等利便増進法により新横浜新駅を主な結節点として数千億円の税金が投入され社会インフラが形成されているし、これまでの社会資本整備を踏まえても、新横浜駅に関しては基本的に発展以外の選択肢は存在しないと思う。 主に北口側で自治活動が活発であることも素晴らしいことだと思うが、新横浜駅周辺の発展は数千億円の税金投入があったから実現するものであり、その開発利益の大部分を享受すべきなのは主に国や地方自治体であるように思う。 とはいえ、大規模な社会資本整備と小さな様々な活動のバランスが重要であり、「新横浜駅北部地区街づくり協議指針」などでジェントリフィケーションのような方向にならないような仕組みも考える必要があるのではないか。	③	01-2④、02-2	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
100	公共セクターによる高度な社会資本整備がされているエリアで、様々な地権者の総意で新しい土地利用を考えるような手法が他の手法に比べても特段優れているのか、今後は他の手法の方が適切なのではないか、なども考察しても良いのではないか。	③	01-2④、02-2	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
101	新横浜駅周辺を問わず、国内の店舗や駅、公園などの至るところにごみ箱がない。 また以前あった所ではほとんどが撤去されている。これは異常なことだ。「ごみは各自でお持ち帰りください」と、みな型にはまったように同じことを謳うが、無責任だ。「横着するな」と言いたい。バッグを持ち歩いていない人たちに「ごみを自宅まで持って行け」というつもりか。馬鹿げたことだ。観光地などで外国の旅行者が辺りにごみを捨てるとよく聞か、彼らを責めるべきではない。何よりもごみ箱を設置しないことが大きな問題だ。ごみ箱がないことは犯罪だ。外国に恥をさらすべきではない。ごみ箱は必要なものだ。まちづくりを目指すなら、設置が急務である。	③	01-3③、02-2	まちの美化はまちづくりの視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
102	夏場の夕方～夜にかけて2丁目の木で鳥が大量発生しており異様な雰囲気となっています。 糞害等もあるので対策をお願いします。	③	01-3③	樹木のせん定や道路清掃など関係部署で連携して対策に取り組んでいきます。
103	今から思うと、みなとみらい地区で成功した「軸」がないのが残念。 歩いて気分の良い街路がない。「新横浜駅（新図書館前）～ 国際競技場・ラポール・リハビリセンター ～ 小机駅」の区間をストレスフリーで歩けるデッキのようなものが欲しい。富士山を借景にできると映える。	③	01-2、01-3	通りの個性や表情を生かした歩行空間など、まちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
104	【良好な住環境のために実現させてほしいこと】 ・同じく住環境の話で、鶴見川沿いは整備されて景観も非常に良いのに、数多くの鉄塔・高圧線が存在しています。健康への影響は不明ですが、移転や地下埋設などはできないのでしょうか。	③	01-3③	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
105	4. 具体的提案 提案①未来型交流空間「ホーカー」の創設 ～市民の日常から未来が生まれる場所へ～ 新横浜に必要なのは、単なる商業施設ではなく、人が自然に集まり交流できる場です。 ホーカー型空間は、・食・交流・起業実証・地域コミュニティを融合する場として機能します。特に食分野の起業家にとっては、・新商品を試す・市民の反応を得る・改良することができ実証ステージになります。 一方、市民にとっては、気軽に立ち寄り、新しい文化やサービスに触れる、日常的な交流拠点となります。	③	01-4① 02-1、02-2	人が集まり、交流する場の創出はまちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
106	鳥山川ももっと整備して川面に降りれるような場所にして欲しい。	③	01-4、02-1	自然環境を生かしたまちづくりは、重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

107	駅前の陸橋にエスカレーターをつけてほしい エレベーターは老人やベビーカーなどに譲ってしまうので、エスカレーターもついているとキャリーバッグ等を持っていても便利かと思います	③	01-1①、01-4② 01-4③、02-2	まちの回遊性の向上はまちづくりの視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
108	交番の設置も必要だと思います。行先や道を探すのにスマホだけが全てではない。	③	01-1①、01-4	交番は新横浜3丁目7に設置されています。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
109	このような意識高いビジョン系の都市計画的資料に良く言えることだが、資料作成や抽象的な議論に様々なリソースを投入するのも良いが、道路の窪みを無くすとか自転車で走り易いように段差を無くす、とかの地味な改善をしてくれた方が結局はうれしい。	③	01-4、	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
110	みんなでゴミ拾いしています！を強調するのも良いが、結局都市部の地権者が出来る都市の価値向上は限定的であるようにも感じる。ゴミ拾いをコミュニティ形成のベースにするのも良いが、本当にコミュニティ形成に役立つのか疑問がある。	③	01-4、01-6 02-1	いただいたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
111	ビルの緑化も良いが、建物自体の性能も重要なのではないか。新横浜エリアにおける横浜市建築物環境配慮制度に基づいたビルはどれほどあり、どの程度の性能のものが多いか。「地域冷暖房」の計画はないのか。	③	01-5①、02-2	環境性能に優れた建築物への更新等は、まちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
112	公園について ・近くに公園、確かにたくさんありますが、サッカーが盛んな地域なため、どこの公園もサッカースクール後の子供で埋め尽くされているときがあります。 ・ボール遊びができる公園とできない公園を明確にして欲しい。 ・バスケットボールができる公園を増やして欲しい。 ・区民プールが欲しい。	③	01-4①、01-5 02-2	多様なニーズに対応したつどいの場はまちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
113	2. 鳥山川周辺および熊の堂駅バス停周辺の夜間照明の整備をお願いしたいです。夜間の安全性向上のため、ぜひ方針に反映していただきたいです。	③	01-6③	誰もが安心して暮らせる環境づくりは、まちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
114	防犯・安全面について： 1）夜間照明について 特に、環状2号線沿いの南側が、車道側の照明しかなく、歩道側には照明がないので、夜間は非常に暗く、安全面で非常に不安を覚えます。特に、店舗の営業終了後の時間帯は懐中電灯がないと道の凹凸や、向かい側から歩いてくる人の様子もよくわからず、大変危ないです。ぜひこの範囲の歩道に歩行者用の照明をつけていただきたく存じます。	③	01-6③	誰もが安心して暮らせる環境づくりは、まちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
115	防犯・安全面について： 3）環状2号線の歩道側に防犯カメラの設置 駅から岸根交差点に至る環状2号線沿いに、特に歩行者が映るようなアングルで防犯カメラを設置いただきたいです。 このエリアは駐車場や資材置き場、業務用のビルが多く、夜間の一人歩きはとても不安を感じるエリアです。以前、不動産屋からも「新横浜1丁目はあまり防犯上おすすめでできない」と言われたことがあります。新横浜という土地の資産価値を上げるためにも、ぜひご検討いただきたく存じます。	③	01-6③	誰もが安心して暮らせる環境づくりは、まちづくりの重要な視点の一つと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
116	篠原口はいつになったら開発されるんですかね	④		引き続き、地域の皆様のご意見を丁寧に向いながら、まちづくりの検討を進めていきます。

117	篠原口の再開発を求めます。	④		あらためて地域の皆様のご意見等を伺いながら、新たなまちづくり計画の策定に向けて丁寧検討を進めていきます。
118	蒲田駅や沼津駅や富山市高岡駅の例によらず、鉄道による市街地分断は街の発展を大きく阻害すると思う。一方で、調布駅や下北沢駅のように分断を無くすことで、新しい街の発展を感じさせる事例も出てきている。 「北部地区まちづくり方針」の方向性を定めるにしても南口側の動向も重要に思われる。2026年7月4日に開催された建築事務所による「模型づくりWORKSHOP! センター北駅高架下ひろばの使い方を一緒に考えよう！」(交通局が後援)に参加したが、このようなワークショップを南部地区でもして頂くことで、南部地区住民からも資料を作成しようという機運が高まるのではないか。	④		あらためて地域の皆様のご意見等を伺いながら、新たなまちづくり計画の策定に向けて丁寧検討を進めていきます。 いただいたご意見は参考とさせていただきます。
119	太尾新道から北新横浜方面へ橋を渡して欲しい。 数年前に決定と聞いていたような？その後どうなっているのか、説明が欲しい。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
120	1. マークヒルズ入口交差点へのカーブミラー設置について マークヒルズ入口の交差点は見通しが悪く、車で出庫する際に左右から来る車や自転車が見えづらく、大変危険です。事故防止のためにも、カーブミラーを設置していただくと安心して通行できるようになると思います。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
121	1. マークヒルズ新横浜のメインエントランスから通りに入る箇所について、左右から来る車両を確認できるようカーブミラーの設置をお願いしたいです。見通しが悪く、歩行者・自転車にとって危険を感じています。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
122	2. 大型スーパーの誘致について 鳥山町周辺は日常の買い物ができるスーパーが少なく、不便を感じています。大型スーパーができれば、高齢者や子育て世帯を含め、多くの住民にとって生活しやすい地域になると思います。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
123	4. コンビニエンスストアの充実について (鳥山町周辺は) 近隣にはコンビニが少なく、ちょっとした買い物にも不便を感じています。コンビニが増えることで、地域住民だけでなく来訪者にとっても便利な街になると思います。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
124	3. マークヒルズ新横浜をはじめ周辺エリアでは今後も人口増加が見込まれます。日常の買い物環境を充実させるため、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、まいばすけっと等の生活利便施設の誘致を進めていただきたいです。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
125	4.現在、マークヒルズ新横浜周辺はバスの本数が少なく、最寄りのバス停も遠いため、日常の移動に不便を感じています。今後の人口増加も見込まれる中で、可能でしたらマークヒルズ新横浜の敷地内、またはその周辺にバス停を新設していただければなお住民の利便性が向上されると思います。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。
126	環状2号線を度々暴走バイクが走っており騒音が酷いので対策をお願いします。	④		いただいたご意見は所管部署と共有させていただきます。

意見 番号	素案へのご意見
127 (72)	新横浜未来ビジョンー交通の結節点から、共創の結節点へー デジタルとフィジカルが融合する未来創造都市・新横浜への提案 提案趣旨 新横浜は、東海道新幹線を中心とする広域交通拠点として発展してきました。近年では、相鉄・東急直通線の開業により、東京方面を含む新たな交通ネットワークを獲得し、横浜駅への過度な集中を補完する副都心的役割を担う可能性が高まっています。また、・高度技術企業の集積・研究開発機能・大規模交流施設・豊かな公園・環境資産・新幹線駅を中心とした交通利便性 など、多くの都市資産を有しています。 一方で、新横浜が次の成長段階へ進むためには、「便利で整った街」から、「人が集まり、交流し、新しい価値が生まれ続ける街」への進化が求められます。本提案では、新たな巨大施設を整備することだけを目的とせず、既に存在する交通、技術、人材、企業、公共施設などの資産を結び直し、小さな仕掛けを積み重ねることで、新横浜独自の都市文化と未来創造エコシステムを形成することを提案します。 目次 第1部 政策提言概要 1.提案の趣旨 2.新横浜が目指す未来像 3.新横浜独自の可能性 4.5つの重点施策 5.期待される効果 第2部 横浜市への意見書 1.はじめに 2.新横浜の次の成長に必要な視点 3.目指すべき都市像 4.具体的提案 第3部 詳細説明書 第1章 提案の背景と基本思想 第2章 新横浜未来ビジョン 第3章 BSC型戦略マップ 第4章 未来創造エコシステム 第5章 重点施策詳細 第6章 官民連携モデル 第7章 実現ロードマップ 第8章 KPI 第9章 未来の新横浜像 第1部 政策提言概要（Executive Summary） 1. 新横浜の次のステージ 新横浜は、計画的に整備された都市として発展してきました。交通、業務、商業、イベント、研究開発など、都市として必要な基盤は既に高い水準で整っています。今後重要なのは、「何を新しく建設するか」だけではなく、既存資産をどのようにつなぎ、新しい価値を生み出すかという視点です。新横浜には、未来都市形成に必要な条件があります。・全国とつながる交通網・技術企業の集積・実証可能な都市空間・多様な利用者・市民生活 です。これらを有機的につなぐことで、新横浜は単なる交通拠点ではなく、未来を試し、育て、社会へ届ける街になる可能性があります。 2. 目指す都市像 交通の結節点から、共創の結節点へ デジタル × フィジカル 本提案における「フィジカルIT」とは、デジタル技術を現実の街や生活の中で活用し、人が価値を実感できるサービスへ変換する仕組みを意味します。デジタルは、・世界の知識・技術情報・AIによる高度化 をもたらします。しかし、技術だけでは社会価値になりません。現実の街で、・人が使う・体験する・評価する・改善する ことで初めて、技術は生活価値になります。新横浜が目指す姿は、デジタルで世界とつながり、フィジカルな街で未来価値を創造する都市です。 3. 5つの重点施策 ① ホーカ-型交流空間 市民の日常から創造が生まれる街の土壌ホーカ-は単なる飲食施設ではありません。市民が気軽に集まり、・食を楽しむ・会話する・交流する・新しい文化を育てる ための場所です。 また、食分野の起業家にとっては、新しい料理、新しい店舗モデル、新しいサービス、を実際の利用者の前で試すことができる、リアルな市場実証ステージになります。 ② 未来型図書館 知識・文化・エンターテインメントの融合拠点 未来型図書館は、本を読む場所だけではなく、また、専門家だけの技術交流施設でもありません。子どもから高齢者まで、楽しみながら未来に触れ、学び、交流できる場所です。 機能例：・図書・デジタル情報・AI検索・VR体験・映画・映像文化・デジタル創作・技術交流・国際交流 ③ フィジカルIT実証都市 技術を生活価値へ変換する街 対象例：・AI・IoT・自動運転・ロボット・スマート防災・高齢者支援 研究や実験だけで終わらず、市民が利用し、評価し、改善する。その循環によって、新横浜を未来技術の社会実装拠点とします。 ④新幹線未来ショップ 未来の商品を市民が体験する場所 新幹線は、単なる鉄道展示ではなく、未来への期待を象徴する存在です。 活用イメージ：・スタートアップ商品・優れたデザイン製品・新しい生活サービス・未来型食品などを市民が実際に体験できる場。技術展示ではなく、技術が実現する未来の生活価値を届ける場所とします。 ⑤ 新横浜未来共創プラットフォーム アイデアを実現につなぐ仕組み 優れたアイデアを持つ人が新横浜に来れば、・技術・人材・実証環境・資金・行政制度 につながる。「寄ってたかって育てる」ことができる都市環境を形成します。

第2部 横浜市への意見書 新横浜駅北部地区まちづくり方針（素案）への提案

ー交通の結節点から、共創の結節点へー デジタルとフィジカルが融合する未来創造都市・新横浜への提案

1. はじめに

新横浜は、これまで横浜市を代表する広域交通拠点として発展してきました。東海道新幹線による全国との接続、横浜市内外を結ぶ鉄道ネットワーク、企業集積、大規模交流施設など、多くの都市資産を有しています。また、相鉄・東急直通線の開業により、東京方面を含む広域交通ネットワークがさらに強化され、新横浜は横浜駅への過度な集中を補完する副都心的役割を担う可能性を高めています。

一方で、住民として新横浜で暮らす中で感じることは、現在の新横浜は、「便利で整った街」である一方、「街としての個性や文化をさらに育てる余地がある街」でもあるということです。都市の魅力は、交通利便性や施設整備だけでは決まりません。人が集まり、交流し、時間を共有し、そこから新しい文化や価値が生まれる環境が重要です。本提案では、新横浜が次の段階へ進むために、既存の都市資産を結び直し、デジタル技術と現実の街を融合させることで、人・企業・技術・地域が未来を共創する都市へ発展することを提案します。

2. 新横浜の次の成長に必要な視点

新横浜には、京都や下町のような長い歴史によって形成された文化はありません。しかし、それは弱点ではありません。

比較的新しく計画された街であるからこそ、**・新しい価値観を受け入れやすい**・多様な人材が参加しやすい・新しい文化を育てる余地がある という大きな可能性があります。

都市文化は、行政が直接作るものではありません。しかし、文化が生まれやすい環境を整えることはできます。重要なのは、自然発生する文化を待つだけでなく、自発性を尊重しながら成長を加速する仕掛けをつくることです。例えば、歴史ある街では、**・人が集まる場所**・日常的な交流・偶然の出会い が長い時間をかけて文化を形成してきました。新横浜では、その過程を尊重しながら、現代の技術と都市機能を活用し、新しい時代の文化形成を支援することが可能です。

3. 目指すべき新横浜の姿 交通の結節点から、共創の結節点へ

これからの都市に求められる価値は、単に人や情報が通過する場所ではなく、人、企業、技術、知識、地域、が交わり、新しい価値を生み出し続けることです。そのためには、デジタルとフィジカルの融合が重要になります。

デジタルの役割 デジタル技術は、**・世界中の知識や技術との接続**・AIによる高度化・情報共有・国際的な連携 を可能にします。

フィジカルの役割 一方で、現実の街には、**・人との出会い**・実際の体験・市民との接点・技術やサービスの実証・信頼関係の形成 という役割があります。

本提案におけるフィジカルITとは、デジタル技術を現実社会の中で活用し、人が価値を実感できるサービスへ変換する仕組みです。つまり、デジタルで可能性を広げ、フィジカルな街で価値へ変えることが、新横浜の競争力になります。

4. 具体的な提案

提案① ホーカー型交流空間の形成 ー市民の日常から、新しい価値が育つ場所へー

新横浜には、業務、交通、イベント機能は充実しています。一方で、目的がなくても立ち寄り、食事を楽しみ、会話し、自然な交流が生まれる日常的な場所は、さらに育てる余地があります。提案するホーカー型空間は、単なる飲食施設ではありません。役割は、市民が自然に集まり、新横浜らしい交流文化を育てる場所です。

また、食分野の起業家にとっては、**・新しい料理**・地域食材の商品化・健康志向食品・新しい飲食サービス・店舗運営モデル などを実際の利用者に提供し、反応を得ながら改善できる、リアルな市場実証の場になります。ホーカーは、市民の日常空間でありながら、未来の挑戦を育てる入口になります。

提案② 未来型図書館・知のオープンイノベーションハブ ー知識、文化、体験が交差する未来型公共空間ー

未来型図書館は、単に本を読む場所ではありません。また、企業や研究者だけの技術交流施設でもありません。目指す姿は、子どもから高齢者まで、楽しみながら未来に触れ、新しい知恵や交流が生まれる場所です。

役割は大きく3つあります。

① 知の拠点・書籍・デジタルアーカイブ・学習空間・専門情報・AIによる情報アクセス

② 未来技術との接点・AI体験・VR・AR体験・デジタル創作・ロボット体験・最新技術展示

③ 文化・エンターテインメント拠点 未来型図書館は、学習するだけの場所ではなく、楽しみながら文化や未来を体験する場所でもあります。例えば、**・映画上映**・映像文化イベント・ミニシアター機能・VRによる世界・歴史・科学体験・デジタルアート展示・世代を超えた交流イベント などです。楽しむことが、興味を生み、学びにつながり、新しい発想を生む。未来型図書館は、市民の日常と未来創造をつなぐ入口になります。

提案③フィジカルIT実証都市・新横浜 ーデジタル技術を暮らしの価値へ変換する街ー

1. フィジカルITの考え方

現在、AI、IoT、ロボットなどのデジタル技術は急速に発展しています。しかし、技術そのものが社会を変えるわけではありません。重要なのは、技術が実際の生活の中で使われ、人が価値を実感し、改善されながら社会に定着することです。

例えば、AI技術を開発する。→実際の街で利用する。→市民が体験する。→便利さや課題を確認する。→改善する。→社会に定着する。

このように、デジタル技術と現実社会を結びつける仕組みを、本提案では「フィジカルIT」と位置づけます。フィジカルITとは、「最新技術を展示すること」ではありません。また、「IT企業だけのための実験場」でもありません。市民の暮らしを豊かにするため、街そのものを技術と社会の接点にする考え方です。

2. なぜ新横浜で実現できるのか

フィジカルITを実現するには、技術、実証環境、利用者、支援体制、が必要です。新横浜には、これらが近接して存在しています。

① 技術基盤 ・IT企業・半導体関連企業・研究開発企業・高度技術人材 ② 実証可能な都市環境

新横浜には、・駅・オフィス・商業施設・公園・イベント施設・住宅地域 があります。つまり、新横浜そのものを、未来技術を試す実社会のフィールドとして活用できます。

③ 多様な利用者 実証には、実際に使う人が必要です。

新横浜には、・地域住民・企業勤務者・学生・国内外からの来街者・イベント参加者 という多様な利用者がいます。

3. 実証テーマ例

(1) スマートモビリティ 例：自動運転シャトル 駅、企業施設、商業施設、公園、公共施設 を結びます。期待効果：・高齢者や来訪者の移動支援・回遊性向上・新横浜全体の一体感形成

(2) スマート防災 例：AIによる災害情報分析、避難支援、防災情報提供。新横浜のような多くの人が集まる街では、平時の利便さだけでなく、非常時の安心も重要な都市価値になります。

(3) スマート生活支援 例：AIを活用した次世代スーパー。機能：・需要予測・食品ロス削減・効率的な在庫管理・防災時の生活支援 単なる商業施設ではなく、地域生活を支えるスマートインフラとして位置づけます。

(4) 高齢者・子育て支援 例：・AI生活サポート・見守りサービス・移動支援・デジタル相談サービス

スマートシティの目的は、技術導入そのものではなく、全世代が安心して暮らせる環境づくりです。

4. フィジカルIT実証の仕組み

重要なのは、企業が一方的に技術を持ち込むことではありません。市民参加型の実証環境とすることです。

流れ：社会課題→アイデア・技術→新横浜で実証→市民が利用→意見・データ取得→改善→社会実装

市民は単なる利用者ではなく、未来の街づくりへの参加者になります。

提案④ 新幹線未来ショップ構想 ―未来技術を、市民が体験できる場所へ―

1. 基本的な考え方 新幹線は、多くの人にとって、「未来」「技術」「憧れ」を象徴する存在です。その価値を活かし、単なる鉄道展示ではなく、未来の生活価値を市民が体験するショーケースとして活用することを提案します。

2. 対象とするもの

ドクターイエロー未来ショップでは、技術展示そのものではなく、市民が手に取り、使い、価値を感じられるものを対象とします。

例：・優れたデザインの商品・次世代生活用品・AIを活用したサービス・新素材製品・未来型食品・スタートアップの商品

技術的な展示や専門家向けの研究紹介は、未来型図書館やフィジカルIT実証環境など、別の場が適しています。ドクターイエローの役割は、一般市民が未来を身近に感じる入口です。

3. 起業支援との接続

新しい商品やサービスが社会に広がるためには、技術力だけでは十分ではありません。必要なのは、「利用者が価値を理解できるか」「生活の中で使いたいと思うか」を確認することです。新幹線未来ショップでは、・体験・購入・評価・改善 という市場との接点を提供できます。これは、起業家にとって、アイデアを事業へ成長させるリアルなステージになります。

提案⑤ 新横浜未来創造エコシステム ―優れたアイデアを、高速で社会実装へ導く街―

新横浜の起業支援は、単に起業家向け施設を作ることではありません。重要なのは、優れたアイデアを持つ人が、新横浜に来れば必要な資源につながる環境を作ることです。そのために必要なのは、・技術支援・人材・実証環境・資金・行政制度・市場との接点 を一体的に提供する仕組みです。

流れ：優れたアイデア→交流・相談→技術支援→実証→市民体験→事業化→社会実装→次の挑戦者を呼ぶ

新横浜の強みは、これらを近い範囲で組み合わせられることです。「寄ってたかって育てる」新横浜モデル優れたアイデアを持つ人に対して、・企業が技術を支援する・行政が制度を支える・金融が資金を支える・市民が利用して評価する街全体が、起業・創造を支える環境になります。

第3部 詳細説明書

第3章 BSC型戦略マップ ―新横浜未来ビジョンを実現するための戦略体系―

本提案は、個別施設の整備を目的とするものではありません。

重要なのは、ホーカー、未来型図書館、フィジカルIT実証、新幹線未来ショップ、起業支援、スマートモビリティ、などの施策が相互につながり、一つの都市戦略として機能することです。そのため、以下の4つの視点で整理します。

ビジョン 交通の結節点から、共創の結節点へ

デジタルとフィジカルが融合し、人・企業・技術・地域が未来を創造し続ける街

① 市民価値の視点

目標 「便利な街」から「好きになる街」へ 一方で、・日常的に滞在したくなる場所・自然な交流が生まれる場所・街への愛着を育てる文化 については、さらに発展の余地があります。

施策 ホーカー型交流空間→日常的な交流と食文化形成 未来型図書館→知識・文化・娯楽・体験の融合 スマート生活インフラ→安心・便利な暮らし

成果指標（例）・住民満足度・滞在時間・公共施設利用者数・市民参加イベント数・地域活動参加者数

② 都市文化・交流の視点

目標 「利用する街」から「育てる街」へ

考え方 街の文化は、行政が一方的に作るものではありません。しかし、人が集まり、交流し、新しい挑戦が生まれる環境を整えることで、その芽を育てることはできます。

施策 ・ホーカーによる日常交流・図書館による文化交流・市民参加イベント・国際交流・新しい食文化・創造文化形成

成果指標（例） ・継続的な交流活動数・新規コミュニティ数・イベント参加者数・市民発プロジェクト数

③ 産業・イノベーションの視点

目標 「企業が存在する街」から「価値が生まれる街」へ

課題 現在、多くの都市がスマートシティを掲げています。しかし、重要なのは技術を保有することではなく、技術を社会価値へ変換する仕組みです。

施策 フィジカルIT実証都市→技術を現実社会で検証 ドクターイエロー未来ショップ→市民との市場接点 新横浜未来創造エコシステム→起業・事業化支援

成果指標（例）・実証実験件数・参加企業数・新規事業創出数・スタートアップ支援件数・社会実装事例数

④ 都市基盤・交通の視点

目標 「整った街」から「進化し続ける街」へ

新横浜の強み 新横浜は、最も構築が困難な都市基盤の一つである、広域交通ネットワークが既に形成されているという大きな優位性があります。・東海道新幹線・JR横浜線・横浜市営地下鉄・相鉄・東急直通線 により、首都圏各方面との接続性が向上しています。

これから重要なのは、新たな交通施設を大量に整備することではなく、既存交通資産を都市価値向上につなげる運用です。

施策 ・スマートモビリティ・自動運転シャトル・回遊性向上・駅周辺施設連携

成果指標（例）・回遊人口・滞在時間・公共交通利用率・周辺施設利用増加

BSC全体構造

ビジョン 交通の結節点から、共創の結節点へ

↓市民価値 便利な街 → 好きになる街 ホーカー・図書館・生活インフラ

↓都市文化・交流 利用する街 → 育てる街 交流・体験・市民参加

↓産業・イノベーション 企業がある街 → 価値が生まれる街 フィジカルIT・起業支援・実証

↓都市基盤 整った街 → 進化する街 交通・スマートモビリティ

第4章 新横浜未来創造エコシステム ―アイデアを高速で社会実装する仕組み― 1. 基本概念 新横浜の起業支援で目指すべきものは、単なる創業施設ではありません。重要なのは、優れたアイデアを持つ人が、新横浜に来れば必要な資源につながり、短期間で社会実装できる環境です。現在、新しい事業を生み出すには、アイデアだけではなく、・技術・人材・実験場所・顧客接点・資金・制度 が必要です。新横浜では、これらを街全体で提供することを目指します。 2. 新横浜型「寄ってたかって育てる」モデル 優れたアイデアを持つ人が現れた時、通常は、「技術はあるが実証場所がない」「商品はあるが顧客接点がない」「資金はあるが事業化人材がない」という壁に直面します。新横浜では、その壁を街全体で取り除きます。 アイデア→交流・発見 ホーカー、未来型図書館、イベント、企業交流、などを通じて、新しい発想や課題を発見します。 →技術・専門支援 技術企業、研究者、専門人材につながります。→実証 フィジカルIT環境、公共空間、市民参加を活用して試します。 →市場評価 ドクターイエロー未来ショップ、ホーカー、市民利用 を通じて価値を確認します。→事業化 金融機関、行政制度、企業連携により成長を支援します。 最終的な目標 一つの成功事例が、次の挑戦者を呼び込む。 その循環によって、新横浜そのものが未来創造の磁場になることを目指します。 3. 新横浜が持つ「寄ってたかれる」強み 本構想の特徴は、単に起業家を集めることではありません。重要なのは、集まったアイデアを、多様な力で一気に育てられる環境です。新横浜には、その条件があります。 ① 優れた交流ステージ ホーカー 市民の日常空間。食や生活サービスを実際に試せる場所。新幹線未来ショップ 未来の商品を市民が体験する場所。 ② 技術実装ステージ フィジカルIT実証環境 AI、IoT、ロボット、スマートサービスなどを現実社会で試す場所。 ③ 知識・人材ステージ 未来型図書館 市民、学生、研究者、企業、が交わる場所。 ④ 支援ステージ 行政・金融・企業連携 ・制度活用・資金支援・事業連携・人材紹介 これらが近接して存在することが、新横浜独自の価値です。
第5章 重点施策詳細 重点施策① ホーカー型交流空間 ―市民の日常から未来が生まれる場所― 1. 目的 新横浜に、「用事がなくても訪れたい場所」「自然に人が集まる場所」を形成します。都市文化は、大規模イベントだけでは育ちません。日常的な交流の積み重ねによって形成されます。ホーカー型空間は、市民が気軽に集まり、食事を楽しみ、会話し、新しい出会いが生まれる、街のリビングルームです。 2. 市民交流機能 役割：・家族で利用できる場所・世代を超えた交流・地域イベント・仕事帰りの交流・観光客との接点 重要なのは、利用者が目的を持って参加しなくても、自然な交流が生まれる環境です。デジタル空間では得にくい、偶然の出会い、予想外の発見、人とのつながり、が創造性を生みます。 3. 食の実証ステージ ホーカーは、食分野の起業家にとって、単なる店舗スペースではありません。新しい挑戦を試す、リアルな市場実験場です。対象例：・新しい料理・地域食材活用・健康志向食品・新しい飲食サービス・海外向け食文化発信 利用者の反応を直接得ることで、商品やサービスを高速に改善できます。 4. 期待効果 市民 ・日常の楽しみ増加・地域交流促進・街への愛着形成 起業家 ・市場検証・顧客獲得・改良機会 新横浜 ・独自文化形成・滞在価値向上・街の魅力向上
重点施策② 未来型図書館・知のオープンイノベーションハブ ―知識、文化、体験が交差する場所― 1. 目的 未来型図書館は、「本を借りる場所」から、市民が未来を体験し、新しい発想を得る場所へ進化します。ただし、専門家だけの施設にはしません。重要なのは、子ども、学生、働く世代、高齢者、企業、研究者、が自然に交わることです。 2. 三つの役割 ① 知の拠点 ・書籍・デジタル情報・学習空間・専門知識・AI検索 ② 技術との接点 ・AI体験・VR・AR・デジタル創作・ロボット体験・最新技術展示 ③ 文化・エンターテインメント拠点 未来型図書館は、学習施設であると同時に、楽しみながら未来に触れる文化施設です。 具体例：・映画上映・ミニシアター機能・映像文化イベント・VRによる世界旅行体験・歴史・科学体験・デジタルアート・ゲーム・eスポーツ関連企画 「楽しい」という入口から、興味、学び、創造、挑戦につながります。

重点施策② 未来型図書館・知のオープンイノベーションハブ（続き）

3. 起業・創造エコシステムにおける役割

未来型図書館は、起業家や研究者だけの施設ではありません。むしろ、市民の日常と未来産業をつなぐ入口として機能します。

例えば、市民がVR技術を体験する。→新しい技術の可能性を知る。→学生や若い世代が興味を持つ。→研究者や企業と交流する。→新しいサービスの発想が生まれる。→フィジカルIT実証へつながる。

このように、「楽しむこと」が「創造の入口」になることが重要です。

4. 期待効果 市民 ・生涯学習機会の拡大・新しい文化体験・世代間交流・子どもの創造力育成 企業・研究者 ・技術発信・人材交流・新サービス検討・市民ニーズ把握 新横浜 ・文化拠点形成・滞在価値向上・未来都市ブランド形成

重点施策③ フィジカルIT実証都市・新横浜 ―デジタル技術を社会価値へ変換する街―

1. フィジカルITの基本概念

現在、世界ではAI、IoT、ロボットなどのデジタル技術が急速に発展しています。しかし、技術が存在するだけでは社会は変わりません。重要なのは、技術が人の生活の中で使われ、価値を実感され、改善されながら普及することです。フィジカルITとは、単なるIT技術ではなく、デジタル技術と現実社会を結びつけ、生活価値へ変換する仕組みです。つまり、「技術を作る場所」ではなく、「技術が役立つ社会を作る場所」です。

2. 新横浜が実証都市に適している理由

フィジカルITの実現には、① 技術② 実証場所③ 利用者④ 支援体制 が必要です。

新横浜には、これらが近接しています。

① 技術基盤 ・IT企業・半導体関連企業・研究開発企業・高度技術人材

② 実証フィールド ・駅・オフィス・商業施設・公園・公共施設・住宅地域

③ 多様な利用者 ・地域住民・企業勤務者・学生・来街者・イベント参加者

この条件を活用し、新横浜そのものを未来技術の社会実験場として発展させます。

3. 具体的な実証テーマ

（1）スマートモビリティ

目的 街の回遊性向上と移動支援。例：環状2号線周辺などを活用した自動運転・次世代シャトル。

接続先：・新横浜駅・企業施設・商業施設・公園・公共施設 期待効果：・高齢者の移動支援・来街者利便性向上・回遊人口増加

（2）スマート防災

目的 都市の安全性向上。 例：・AIによる災害情報分析・混雑状況把握・避難支援・防災情報提供

新横浜のように、平日は企業利用者、休日はイベント来街者、が集まる街では、防災機能そのものが都市価値になります。

（3）スマート生活インフラ

目的 日常生活の質向上。例：AIスマートスーパー。機能：・需要予測・食品ロス削減・効率的な商品管理・防災備蓄機能・地域情報発信

単なる店舗ではなく、平時も災害時も地域を支える生活基盤として位置づけます。

（4）高齢者・子育て支援 例：・AI生活サポート・見守りサービス・移動支援・デジタル相談 スマートシティの目的は、最新技術を導入することではなく、すべての世代が安心して暮らせる街をつくることです。

重点施策② 未来型図書館・知のオープンイノベーションハブ（続き）

3. 起業・創造エコシステムにおける役割

未来型図書館は、起業家や研究者だけの施設ではありません。むしろ、市民の日常と未来産業をつなぐ入口として機能します。

例えば、市民がVR技術を体験する。→新しい技術の可能性を知る。→学生や若い世代が興味を持つ。→研究者や企業と交流する。→新しいサービスの発想が生まれる。→フィジカルIT実証へつながる。

このように、「楽しむこと」が「創造の入口」になることが重要です。

4. 期待効果

市民 ・生涯学習機会の拡大・新しい文化体験・世代間交流・子どもの創造力育成

企業・研究者 ・技術発信・人材交流・新サービス検討・市民ニーズ把握

新横浜 ・文化拠点形成・滞在価値向上・未来都市ブランド形成

重点施策③ フィジカルIT実証都市・新横浜 ―デジタル技術を社会価値へ変換する街―

1. フィジカルITの基本概念

現在、世界ではAI、IoT、ロボットなどのデジタル技術が急速に発展しています。しかし、技術が存在するだけでは社会は変わりません。重要なのは、技術が人の生活の中で使われ、価値を実感され、改善されながら普及することです。フィジカルITとは、単なるIT技術ではなく、デジタル技術と現実社会を結びつけ、生活価値へ変換する仕組みです。つまり、「技術を作る場所」ではなく、「技術が役立つ社会を作る場所」です。

2. 新横浜が実証都市に適している理由

フィジカルITの実現には、① 技術② 実証場所③ 利用者④ 支援体制が必要です。

新横浜には、これらが近接しています。① 技術基盤 ・IT企業・半導体関連企業・研究開発企業・高度技術人材 ② 実証フィールド ・駅・オフィス・商業施設・公園・公共施設・住宅地域 ③ 多様な利用者 ・地域住民・企業勤務者・学生・来街者・イベント参加者

この条件を活用し、新横浜そのものを未来技術の社会実験場として発展させます。

3. 具体的な実証テーマ

(1) スマートモビリティ

目的 街の回遊性向上と移動支援。例：環状2号線周辺などを活用した自動運転・次世代シャトル。

接続先：・新横浜駅・企業施設・商業施設・公園・公共施設 期待効果：・高齢者の移動支援・来街者利便性向上・回遊人口増加

(2) スマート防災

目的 都市の安全性向上。例：・AIによる災害情報分析・混雑状況把握・避難支援・防災情報提供

新横浜のように、平日は企業利用者、休日はイベント来街者、が集まる街では、防災機能そのものが都市価値になります。

(3) スマート生活インフラ

目的 日常生活の質向上。例：AIスマートスーパー。機能：・需要予測・食品ロス削減・効率的な商品管理・防災備蓄機能・地域情報発信

単なる店舗ではなく、平時も災害時も地域を支える生活基盤として位置づけます。

(4) 高齢者・子育て支援 例：・AI生活サポート・見守りサービス・移動支援・デジタル相談

スマートシティの目的は、最新技術を導入することではなく、すべての世代が安心して暮らせる街をつくることです。

4. 市民参加型実証モデル

フィジカルIT実証で重要なのは、企業が一方的に技術を試すことではありません。市民が参加し、共に育てる仕組みにすることです。

流れ：地域課題→アイデア・技術→新横浜で実証→市民が利用→意見・評価→改善→社会実装

市民は、単なる利用者ではなく、

未来の街づくりの共同参加者になります。

重点施策④

ドクターイエロー未来ショップ ―未来の生活価値を、市民へ届けるステージ―

1. 基本コンセプト

ドクターイエローは、多くの人にとって、鉄道技術への憧れ、未来への期待、高度な日本技術の象徴です。その象徴性を活かし、単なる保存展示ではなく、未来の商品・サービスを市民が体験するショーケースとして活用します。

2. 対象とする領域

ドクターイエロー未来ショップでは、専門家向けの技術展示ではなく、一般市民が実際に触れ、使い、価値を感じられるものを対象とします。例えば、・優れたデザインの商品・次世代生活用品・AIを活用したサービス・新素材を活用した製品・未来型食品・環境配慮型商品・スタートアップの商品 などです。一方で、研究段階の技術展示や専門的な技術交流については、未来型図書館、フィジカルIT実証環境、企業研究施設、などが担います。ドクターイエロー未来ショップの役割は、技術を生活者の目線に翻訳することです。

3. 起業支援との接続

新しい技術やアイデアを事業化する際、最大の壁は、「技術があるか」だけではありません。重要なのは、「人が価値を感じるか」「実際に使いたいと思うか」です。ドクターイエロー未来ショップでは、起業家が、・商品进行展示する・市民が体験する・意見を得る・改良する・販売につなげる という循環を作ることができます。つまり、アイデアを市場価値へ変換する最初のステージになります。

4. ドクターイエローが持つ象徴的価値

ドクターイエローは、単なる車両ではありません。多くの人にとって、「未来を支える技術」「見えないところで社会を支える努力」の象徴です。その精神を引き継ぎ、新横浜を、未来を発見し、未来を体験し、未来を育てる街として発信することができます。

重点施策⑤

スマート生活インフラ構想　―未来技術を日常生活へつなげる―

1. 基本的な考え方

スマートシティというと、高度な技術や大規模システムを導入することに注目されがちです。しかし、本当に重要なのは、市民が毎日の生活の中で便利さや安心を感じることです。そのためには、特別な未来技術ではなく、日常の小さな不便を解決する仕組みが重要です。

2. スマートスーパー構想

新横浜では、生活を支える商業機能の強化が重要です。例えば、次世代型スマートスーパー。単なる食品販売施設ではなく、地域生活を支えるスマートインフラとして位置づけます。

機能例：① AI需要予測　利用状況を分析し、必要な商品を適切に提供。② 食品ロス削減　需要予測により、廃棄削減。③ 防災機能　平時：地域の生活拠点。災害時：・食料供給　情報提供　地域支援　機能。④ 地域情報発信　・行政情報・地域イベント・生活情報　などを提供。

3. スマート生活インフラがもたらす価値

市民　・日常利便性向上・安心感向上・生活時間削減　地域　・交流拠点形成・防災力向上・高齢者支援 新横浜　・職住近接都市としての魅力向上・暮らしやすい副都心形成

重点施策⑥　スマートモビリティ構想　―新横浜全体を一つの回遊空間へ―

1. 背景

新横浜は、交通結節点として非常に高いポテンシャルを持っています。しかし、駅の利用価値をさらに高めるためには、駅から周辺施設への移動、街全体の回遊性、を向上させる必要があります。重要なのは、新たな大規模交通施設を建設することではありません。既にある交通資産を、街の価値向上につなげる運用です。

2. 環状2号線スマートシャトル構想　例：自動運転・次世代型無料シャトル。

接続イメージ：新横浜駅→企業・研究施設→商業施設→未来型図書館→新横浜公園→周辺地域

3. 期待効果　市民　・移動負担軽減・高齢者の外出促進・公共施設利用向上　来街者　・街の回遊性向上・滞在時間増加・新横浜全体の魅力体験 企業　・来訪者利便性向上

・実証フィールド提供

4. 交通から交流へ

交通の本来の価値は、人を運ぶことだけではありません。人と人、場所と場所、アイデアと機会、をつなぐことです。「交通」という言葉は、中国古典『周易』における「天地交わりて万物通ず」という考え方にも通じます。つまり、交わることで、新しい価値が生まれるという意味を持っています。新横浜は、単なる人の通過点ではなく、人・技術・知識が交わる都市の結節点へ進化することができます。

第6章　官民連携モデル　―街全体を未来創造プラットフォームへ―

1. 基本的な考え方

新横浜の未来づくりは、行政だけ、企業だけ、市民だけでは実現できません。必要なのは、それぞれが持つ強みを結び、共通の目的に向かって協働する仕組みです。本提案は、行政がすべてを整備することを求めるものではありません。また、特定企業だけに依存するものでもありません。新横浜に既に存在する、・行政・企業・技術者・金融機関・大学・研究機関・市民　の力を結び直すことが目的です。

2. 新横浜未来共創プラットフォーム（案）

役割　新横浜における、「課題」「アイデア」「技術」「人材」「資金」を結びつけ、社会実装まで導く中核機能です。

基本機能　① 課題発見　市民、企業、行政から都市課題を収集。② アイデア募集　スタートアップ、研究者、学生、企業から解決策を募集。③ 実証支援　フィジカルIT環境、公共空間、既存施設を活用。④ 事業化支援　金融、企業連携、行政制度を活用。⑤ 社会実装　新横浜で成功したモデルを、横浜市内、国内、海外へ展開。

3. 各主体の役割

① 横浜市

役割　都市戦略と民間活動をつなぐコーディネーター。　具体的役割：・都市政策との連携・公共空間活用・実証実験調整・規制・制度面の支援・関係者調整

行政の役割は、すべてを直接実施することではなく、多様な主体が挑戦しやすい環境を整えることです。

② 鉄道事業者

JR東海　役割　新横浜の全国的ネットワーク価値を活用。可能性：・新幹線ブランドとの連携・ドクターイエロー活用・交流・観光価値創出

ドクターイエローは、単なる鉄道資産ではなく、技術への憧れと未来への期待を象徴する文化資産として活用します。

相鉄・東急　役割　新たな交通ネットワークを活用した都市価値向上。相鉄・東急直通線により、新横浜は従来以上に広域的な結節点になりました。

活用方向：・来街者増加・回遊促進・副都心機能強化・新しい生活圏形成

③ 地域企業・技術企業 役割 技術、人材、実証環境の提供。新横浜の大きな特徴は、高度な技術を持つ企業が、この距離を活かし、研究室内の技術を、市民生活へつなげます。街の近くに存在していることです。 ④ 金融機関 役割 アイデアを事業へ成長させる支援。必要な機能：・起業資金・成長資金・事業計画支援・企業紹介・経営支援 技術と市場をつなぐ役割として、金融機関は重要なパートナーになります。 ⑤ 大学・研究機関 役割 知識、人材、研究成果の提供。未来型図書館やフィジカルIT実証環境と連携し、学生や研究者が街と関わる機会を創出します。 ⑥ 市民 役割 利用者であり、評価者であり、共創者。未来の街づくりでは、市民は単なるサービスの受け手ではありません。実際に使い、意見を出し、改善に参加することで、街づくりの共同制作者になります。
第7章 実現ロードマップ ー大きなビジョンを、小さな一歩から実現するー 都市文化は、一度に作ることはできません。しかし、小さな成功体験を積み重ねることで、街の性格は変化します。重要なのは、大きなビジョンを持ちながら、実現可能な小さな一歩を積み重ねることです。 Phase 1 基盤形成期（1～3年）目的 「新横浜では新しいことが試せる」という実感をつくる。 取り組み例 ホーカー・小規模実証・食のチャレンジ支援・市民交流イベント 未来型図書館・VR体験・デジタル創作・映画・文化イベント・技術交流企画 フィジカルIT・AIサービス実証・スマート生活実験・モビリティ実証 共創プラットフォーム・企業・行政・大学連携開始・起業相談機能 Phase 2 成長展開期（3～7年） 目的 新横浜独自の創造エコシステム形成。 取り組み：・実証プロジェクト拡大・企業参加拡大・スタートアップ支援強化・ドクターイエロー未来ショップ展開・市民参加型事業拡大 Phase 3 都市文化定着期（7～10年）目的 「未来を創る街」というブランド形成。目指す姿：・技術企業が集まる・起業家が挑戦する・市民が楽しむ・子どもが未来を感じる 街へ。
第8章 KPI（成果指標） ー未来創造都市への進捗を可視化するー 本構想では、単に施設を整備することを成果とはしません。重要なのは、人が集まり、交流が生まれ、挑戦が育ち、社会価値につながっているかを継続的に確認することです。そのため、以下の4つの視点で成果を評価します。 1. 市民価値 目標 「便利な街」から「愛着を持てる街」へ 評価指標例 ① 住民満足度・新横浜で暮らす満足度・住み続けたい意向 ② 交流機会・市民参加イベント数・交流施設利用者数・世代間交流機会 ③ 滞在価値・街中で過ごす時間・周辺施設利用状況・回遊行動 2. 都市文化・交流 目標 「訪れる街」から「関わり続ける街」へ 評価指標例 ・新規イベント数・継続的コミュニティ数・市民発プロジェクト数・文化活動参加者数 都市文化は数字だけでは測れません。しかし、「人が関わる機会」を増やすことは可能です。 3. 産業・イノベーション 目標 「企業が存在する街」から「価値が生まれる街」へ 評価指標例 実証・フィジカルIT実証件数・参加企業数・市民参加人数 起業・支援プロジェクト数・新規事業創出数・スタートアップ連携数 社会実装・実用化されたサービス数・導入施設数・横浜市内外への展開数 4. 都市ブランド 目標 「新横浜なら挑戦できる」という認知形成 評価指標例 ・来街者数・企業進出数・国際交流件数・メディア発信数・都市認知度
第9章 未来の新横浜像 ー便利な街から、未来を創る街へー 新横浜は、既に多くの価値を持っています。東海道新幹線。高度技術企業。交通ネットワーク。公共施設。公園。多様な人々。必要なのは、新しいものを大量につくることではありません。既に存在する価値を発見し、結び、磨き、未来につなげることです。 1. 新横浜の新しい個性 京都には歴史があります。下町には人情があります。港町には交流文化があります。新横浜には、それらとは異なる個性があります。それは、新しい未来を受け入れ、育てる文化です。歴史によって形成された文化ではなく、未来への挑戦によって形成される文化。新横浜だからこそ可能な都市文化です。 2. 偶然が生まれる街へ デジタル技術は、世界中の情報へ瞬時につながることを可能にしました。しかし、デジタル情報は、あらかじめ定義された情報として整理されるため、予想外の発見や偶然の出会いは生まれにくい側面があります。一方、現実の街には、予定していなかった出会いがあります。例えば、美しい景色を見に行ったが、実際には観光船の音が気になる。小さな地方都市だが、屋台料理が驚くほど美味しい。華やかな舞台より、観客の温かい雰囲気印象に残る。そうした、期待と現実の違い、偶然の発見、人との交流、が創造性を生みます。都市の魅力とは、完全に計画されたものだけではありません。偶然が生まれる余白を持つことが重要です。 3. 新横浜が目指すべき循環 本提案の本質は、施設整備ではありません。目指すのは、以下の循環です。 人が集まる→交流が生まれる→新しいアイデアが生まれる→技術や支援につながる→実証される→市民が体験する→価値が認められる→次の挑戦者が集まる→さらに交流が生まれる この循環が一定規模を超えることで、街には独自の文化が形成されます。
4. 最後に 新横浜には、京都のような長い歴史はありません。しかし、未来を創る都市には、必ずしも過去の蓄積だけが必要なわけではありません。必要なのは、未来に向けて、人が集まり、交流し、挑戦し、成功と失敗を共有しながら、新しい文化を育てる環境です。新横浜には、そのための、交通、技術、企業、人材、市民、という十分な資産があります。不足しているのは、それらを結びつける「仕掛け」です。大きなビジョンを抱いた小さな一歩。その一歩が、未来への挑戦を呼び込み、新しい価値を生み、やがて新横浜独自の都市文化になります。新横浜を、未来が生まれ続ける共創都市へ。

128 (74)	横浜市の既存政策との整合性　―新横浜未来ビジョンを、市全体の都市戦略へ接続する― 1. 基本的な考え方 本提案は、新横浜だけを独立して発展させるものではありません。横浜市が進める既存の都市政策、・都市の国際競争力向上・脱炭素社会の実現・スマートシティ推進・イノベーション創出・地域活性化・多世代が安心して暮らせるまちづくりと方向性を共有し、新横浜という地域特性を最大限活用して具体化するものです。重要なのは、市全体の大きな政策目標を、新横浜という実証可能な都市空間で具体的な価値として見える化することです。 1. 横浜市のスマートシティ政策との整合 横浜市が目指す方向 スマートシティとは、単にデジタル技術を導入することではありません。ICTやデータを活用しながら、・市民生活の質向上・社会課題解決・持続可能な都市運営 を実現する考え方です。 本提案との接続　本提案の「フィジカルIT」は、スマートシティを市民が実感できる形に変換する考え方です。 例えば、AI・データ活用→単なる技術導入ではなく、・スマートスーパー・防災支援・交通支援・高齢者支援 として生活価値へ転換。実証実験→研究施設だけではなく、街そのものを実証フィールド化。市民参加→利用者の声を反映しながら改善。つまり、新横浜はスマートシティ政策を市民目線で実証するモデル地区になり得ます。 2. 脱炭素・環境政策との整合 背景　今後の都市競争力には、便利さだけでなく、環境性能、持続可能性、レジリエンス、が重要になります。 本提案との接続　スマートモビリティ・EV活用・移動効率化・交通データ活用 →移動による環境負荷低減。スマートスーパー・AI需要予測・食品ロス削減→資源循環への貢献。スマート施設運営・エネルギー管理・省エネ技術実証→脱炭素型都市モデル形成。 新横浜を、技術によって環境負荷を下げながら、便利で豊かな生活を実現する街として発信できます。 3. イノベーション政策との整合 課題　多くの都市が、「スタートアップ支援」「イノベーション創出」を掲げています。しかし、重要なのは、単に起業家を集めることではありません。必要なのは、アイデアが生まれ、試され、成長する環境です。本提案との接続新横浜未来創造エコシステムでは、以下を一体化します。 アイデア創出　未来型図書館　ホーカー　交流空間→人が交わり発想が生まれる。　技術支援　企業・研究機関→実現可能性を高める。　実証　フィジカルIT環境→実際の社会で試す。　市場接点　新幹線未来ショップ　ホーカー→利用者評価を得る。事業化　行政・金融支援→継続的事業へ成長。 この循環こそが、新横浜独自の起業支援モデルになります。 4. 横浜市内各拠点との役割分担　―競争ではなく、補完による都市力向上― 横浜には既に多様な拠点があります。重要なのは、それぞれが同じ機能を持つことなく、特徴を活かして連携することです。 みなとみらい地区　役割　国際交流・大規模ビジネス・観光交流拠点。特徴：・国際企業・大規模施設・観光資源・ウォーターフロント 横浜駅周辺　役割　商業・交通中心拠点。特徴：・巨大ターミナル・商業集積・人流 新横浜　役割　未来技術・実証・共創拠点。特徴：・新幹線・技術企業・研究開発・実証可能な都市空間 つまり、横浜市全体として、みなとみらい　国際・観光・ビジネス→横浜駅　商業・交流・交通→新横浜　技術・実証・未来創造　という役割分担が可能です。 5. 新横浜だからこそ可能な理由 ① 歴史が浅いことを強みに変えられる　京都や下町のような歴史文化はありません。しかし、その分、新しい文化を受け入れ、未来型都市を形成する余地があります。 ② 技術と生活が近接している　研究施設だけでも、住宅地だけでもありません。・技術企業・商業・公共施設・住宅・交通 が近接しています。 ③ 実証結果を発信できる　新幹線駅を持つ新横浜は、全国からアクセスしやすい。 成功事例を、横浜市内、国内、海外、へ展開できます。 6. 政策的位置づけ 本提案は、新横浜を単なる再開発対象として見るのではなく、横浜市の未来都市政策を具体化する「実証・発信拠点」として位置づけるものです。新横浜が成功すれば、それは新横浜だけの成果ではありません。横浜市全体の、・スマートシティモデル・産業政策モデル・市民参加型都市モデル として展開できます。
-------------	--